

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
平成24年度(2012年度) 年度途中								
連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
22	足立	1号炉	休炉	H24.6.21	10:00	H24.7.3	15:14	1号炉ヒドラジン濃度低下のため調査したところ、脱酸剤注入ラインの流量低下がみられ、調査のために焼却炉を立ち下げた。
21	世田谷	2号炉	休炉	H24.6.29	20:04			熔融スラグの流下が止まり、燃烧熔融炉壁温度が徐々に低下してきた。その後、ITVカメラで流下口からの水漏れを確認したため、焼却炉を立ち下げた。
20	豊島	1号炉	休炉	H24.6.28	4:28	H24.6.28	16:05	バンカゲートスロープから剥離した鉄板が給じん機内に引っ掛け、運転継続が不可能になったので焼却炉を立ち下げた。
19	豊島	2号炉	休炉	H24.6.22	21:00	H24.6.25	21:24	DCS更新後CO濃度が安定せず、自動燃焼制御では抑制不能となり手動操作に切り替えたが、安定燃焼が維持できないため、焼却炉を停止した。
18	光が丘	1号炉	休炉	H24.6.17	3:23	H24.6.23	23:30	排ガス再加熱器入口温度"低"警報が頻発しており、当該入口圧力が上昇傾向にある。排ガス再加熱器フィンチューブの閉塞が考えられ、閉塞解除のため焼却炉を立ち
17	大田第一	3号炉	休炉	H24.6.18	3:30	H24.6.23	9:59	No.1ごみクレーンバケットの爪本体が折損し、3号焼却炉内に入った。爪本体の取り出し及び火格子点検のため、焼却炉の立ち下げを行った。
16	渋谷	1号炉	休炉	H24.6.13	23:56	H24.6.16	23:13	No.2不燃物移送コンベヤのチェーンの破断を確認した。補修方法を調査していたところ、バケットの落下も確認したことから、焼却炉から不燃物が抜き出せなく、継続運転
15	中防・破砕		休炉	H24.6.8	14:30	H24.6.19	18:50	ごみ供給装置のシャーピンが折れているのを確認した。補修にあたり、スプロケットと取付板が固着しているためシャーピン交換に時間がかかり、その間ごみ供給できないの
14	世田谷	2号炉	休炉	H24.6.7	4:51	H24.6.10	10:43	ガス化炉の流動不良が起こり、ガス化炉上部の温度が上昇した。改善操作を試みたが流動不良が解消しないため焼却炉を立ち下げた。
13	大田第一	タービン	停止	H24.6.6	0:02	H24.6.9	10:00	タービン入口蒸気圧力の低警報が発報し、タービン発電機がトリップした。原因として、タービン発電機起動盤付き圧力計の圧力検出機構の不具合が考えられる。また、契約
12	葛飾	2号炉	休炉	H24.6.1	23:27	H24.6.15	12:47	2号主灰排出装置内部の油圧配管で油漏れが発生し、ストーカ駆動装置の圧力及び油量が低下した。作動油の補充等を行うも復旧の見込みが立たず、焼却炉の運転継
11	光が丘	1号炉	休炉	H24.5.31	0:58	H24.6.4	22:35	飛灰の輸送完了の時間設定を超過したため警報が発報した。輸送配管の閉塞が原因とみられ復旧作業を続けたが、槌打作業では復旧できないため焼却炉を立ち下げた。
10	板橋	2号炉	休炉	H24.5.30	3:26	H24.6.2	11:34	誘引ファン制御油ポンプの故障警報が発生した。現場操作で復旧できず、ポンプの電動機が加熱していることを確認した。炉内圧制御に支障をきたす恐れがあるため、焼却
9	目黒	1号炉	休炉	H24.5.17	0:17	H24.5.20	13:53	1号炉ろ過式集じん器下部のシュートでブリッジが発生し、閉塞解除作業を試みたが解除できず焼却炉の立ち下げを行なった。
8	新江東	3号炉	休炉	H24.5.12	16:44	H24.6.2	14:40	コンベヤチェーンが破断し、フライトが脱落した。灰の搬送ができないため、焼却炉を立ち下げた。
7	目黒	1号炉	休炉	H24.5.12	15:38	H24.5.16	2:04	1号炉飛灰圧送配管が閉塞し、解除作業を試みたが解除できないため焼却炉の立ち下げを行なった。その途中、19時10分に制御システムの異常警報が発報して緊急停止状
6	世田谷	1号炉	休炉	H24.5.12	10:58	H24.5.16	15:31	ガス化炉の流動不良が起こり、ガス化炉上部の温度が上昇した。改善操作を試みたが流動不良が解消しないため焼却炉を立ち下げた。
5	世田谷	1号炉	休炉	H24.5.11	6:50	H24.5.11	16:54	アンモニア水貯蔵室内でアンモニア濃度"高"警報が発報した。ポータブル測定器でアンモニア気化装置上部での漏洩を確認した。ごみ投入を停止し、アンモニア吹込みを停
4	港	2号炉	停止	H24.4.18	11:30	H24.4.26	17:00	2号ごみクレーントロリに付いている点検用梯子に電気ケーブルが引っ掛けられ、電気ケーブル3本が断線した。通常運転することができないため、2号炉ごみホッパと3号ご
3	板橋	2号炉	休炉	H24.4.16	9:00	H24.4.20	14:56	2号炉ストーカ下乾燥帯ホッパAシュート部の温度が低いため調査したところ、当該シュート部の閉塞を確認した。閉塞解除のため2号炉焼却炉を立ち下げた。
2	光が丘	1号炉	休炉	H24.4.13	17:00	H24.4.17	23:30	点検時、ボイラ下シュート(1)の閉塞を確認した。槌打を試みるも復旧できないため焼却炉を立ち下げた。
1	足立	2号炉	休炉	H24.4.5	11:10	H24.4.26	7:33	2号炉炉圧制御ダンパの開度不良により、炉内圧力の自動制御が困難となったため、焼却炉を立ち下げた。翌日から予定していた中間点検にそのまま入る。
71	中央	1号炉	休炉	H24.3.30	15:30	H24.4.4	12:23	1号灰コンベヤから灰が排出されていないことを発見し、灰押出し装置および主灰シュートの閉塞を確認した。閉塞解除のため、焼却炉を立ち下げた。
70	世田谷	1号炉	休炉	H24.3.30	12:20	H24.4.5	11:09	燃焼熔融炉流下口の壁面等に溶けたスラグが付着し、塊が出来た。解除を試みたが、その後も塊の上にスラグが堆積し、徐々に閉塞してきたため、運転継続が困難と判断
58	灰溶融・世田谷	1号炉	休炉	H24.1.7	10:30	H24.4.26	19:00	灰溶融炉下部の炉体と炉底電極間に炎を発見した。調査、補修のため停止した。
平成23年度(2011年度)								
連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
71	中央	1号炉	休炉	H24.3.30	15:30			1号灰コンベヤから灰が排出されていないことを発見し、灰押出し装置および主灰シュートの閉塞を確認した。閉塞解除のため、焼却炉を立ち下げた。
70	世田谷	1号炉	休炉	H24.3.30	12:20			燃焼熔融炉流下口の壁面等に溶けたスラグが付着し、塊が出来た。解除を試みたが、その後も塊の上にスラグが堆積し、徐々に閉塞してきたため、運転継続が困難と判断
69	中央	1号炉	休炉	H24.3.26	23:11	H24.3.30	10:31	「1号ボイラ灰搬出装置 異常」が発報し、現場で異物(スレー缶、クリンカ)詰りが確認され、除去作業を行ったが、スクリーコンベヤの正転・逆転が行えないため、焼却炉を
68	有明	共通	-	H24.3.26	0:37	H24.3.26	12:18	3月26日(月)0時37分にタービン発電機界磁喪失したためタービントリップが発生した。その後、0時52分から1時40分にかけて4回立ち上げを試みるが即AVR故障が発生し、
67	有明	1号炉	休炉	H24.3.13	14:19	H24.3.17	13:11	1号炉SGH戻り配管の脱気器入口付近エルボ配管から蒸気漏れを発見した。脱気器は共通設備であり、当該漏れ箇所は、元弁と脱機器の間に位置するため、全炉停止して
66	有明	1号炉	休炉	H24.3.7	16:30	H24.3.13	12:55	1号炉の2パス3パスのNo.2ボイラ下シュートに灰が詰まった。解除の為、焼却炉を停止する。

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
65	灰溶融・品	2号炉	休炉	H24.2.16	13:00	H24.2.24	15:58	2号細粒灰計量器に湿灰が混入し、計量不能となったため休炉した。
64	葛飾	2号炉	休炉	H24.1.23	10:00	H24.2.7	13:20	減湿水槽からの水漏れが発見されたため、外部からの補修を試みたが状況が改善されなかった。当該部補修のため、焼却炉を立ち下げた。
63	多摩川	1号炉	休炉	H24.1.22	21:41	H24.1.24	7:11	主灰搬出ゲート上段故障が発生した。上段ゲートが開状態のまま、閉とならず、復旧できないため、焼却炉を立ち下げた。
62	千歳	1号炉	休炉	H24.1.22	22:02	H24.1.24	1:59	平成23年12月29日の誘引ファン回転数制御装置の故障時にデジタル調節計の交換を行ったが、周波数変換器の不具合が判明した。年末で部品調達に時間がかかるため、立ち上げ運転時に、脱気器入口逆止弁本体とふたのガスケット部から、蒸気漏れがあり、2号炉を立ち下げた。
61	江戸川	2号炉	休炉	H24.1.17	7:30	H24.1.19	13:28	焼却炉本体とS-3ノズル支持用鋼材貫通部の隙間から、火の粉や燃焼ガスの漏洩を確認した。耐火材が損傷していると考えられるため、焼却炉を立ち下げて確認を行う。
60	豊島	2号炉	休炉	H24.1.16	11:00	H24.1.25	5:15	2号主灰シュートにクリンカが落下した。これにより2号主灰シュート水冷ジャケットへの給水配管が破損した。補修を検討したが、クリンカがその後も落下しており、また深夜
59	目黒	2号炉	休炉	H24.1.9	22:45	H24.1.11	7:41	灰溶融炉下部の炉体と炉底電極間に炎を発見した。調査、補修のため停止した。
58	灰溶融・世	1号炉	休炉	H24.1.7	10:30			
57	有明	1号炉	休炉	H24.1.4	7:00	H24.1.12	13:14	2パス3パスのNo.2側ボイラ下シュートに灰が詰まった。解除の為、焼却炉を停止する。
56	世田谷	2号炉	休炉	H24.1.4	14:10	H24.1.7	11:04	シールゲートが開かなくなりごみの投入ができなくなったので立ち下げた。
55	品川	共通	停止	H23.12.27	13:00	H23.12.29	15:00	12月27日、No.2ごみクレーン手動運転している際、トリップが多発した。動作を注視するとバケット開閉時にトリップすることが判明した。
54	千歳	1号炉	休炉	H23.12.29	5:45	H23.12.30	2:39	誘引ファン回転数制御装置の故障により、誘引ファンの制御ができなくなったため、焼却炉を立ち下げた。
53	世田谷	1号炉	休炉	H23.12.26	6:12	H24.1.6	11:16	「不燃物排出装置 故障」警報が発報した。解除を試みたが、解除に時間がかかるため焼却炉を立ち下げた。
52	江戸川	1号炉	休炉	H23.12.13	10:30	H23.12.2	13:41	1号No2ボイラ給水ポンプの吐出弁フランジ部より水漏れ発見。補修のため立ち下げた。
51	世田谷	2号炉	休炉	H23.12.17	0:00	H23.12.30	11:29	No2ガス化炉下抜出部温度が上昇し、流動不良になった為、調査をする必要があり、焼却炉を立下げた。
50	世田谷	1号炉	休炉	H23.12.16	22:30	H23.12.23	12:53	No2ガス化炉下抜出部温度が上昇し、流動不良になった為、調査をする必要があり、焼却炉を立下げた。
49	灰溶融・世	1号炉	休炉	H23.12.7	11:18	H23.12.9	15:00	「細粒灰計量ホッパー重量PV下限」警報が発報した。現場を確認したところ、細粒灰貯槽切出装置のスクリーコンベアのシャフトが折損し回転不能となっていたため灰溶融炉
48	品川	2号炉	休炉	H23.12.1	10:00	H23.12.14	14:16	12月1日運転係より、2号ろ過式集じん器第1室の飛灰の出が悪いとの報告があり、槌打等で閉塞解消を試みた。改善しなかったため、12月3日に第1室を閉鎖して槌打作業
47	大田第一	2号炉	休炉	H23.12.3	6:49	H23.12.7	15:05	2号炉飛灰空気輸送装置故障発報（ブロータンク圧力高及びタンクレベルH）。輸送配管及びタンク内の詰まり解除のため、焼却炉を停止した。
46	世田谷	1号炉	休炉	H23.11.25	15:50	H23.12.3	10:55	「砂循環エレベータ電流値上限」警報が発報し、現場を確認したところ、砂循環エレベータからガス化炉への配管に砂の詰りがあった。解除を試みたが、解除に時間がか
45	千歳	1号炉	休炉	H23.11.4	17:00	H23.11.22	13:26	蒸気式空気予熱器から復水タンクへの復水戻り管にドレン漏洩が発生し、その後漏れ量に増加傾向が見られたため、焼却炉を停止した。
44	墨田	1号炉	休炉	H23.11.17	18:27	H23.11.20	13:06	No.1減温塔ダスト搬出装置異常（スクレーパコンベヤ過負荷）多発。減温塔内部及びノズルの調査を行うため焼却炉を立ち下げた。
43	葛飾	1号炉	休炉	H23.11.15	11:10	H23.11.18	11:31	1号焼却炉後燃焼ストーカ上に鋼材（長さ約4m）を発見したので炉を停止して撤去する。
42	光が丘	2号炉	休炉	H23.11.9	18:20	H23.11.19	7:47	2号ろ過式集じん機入口ガス温度“L”発報。減温水流量が調整できないので焼却炉を立下げた。
41	光が丘	1号炉	-	H23.11.9	1:08	H23.11.9	23:00	「1号ボイラ下ロータリーバルブ（1）」警報が発報した。現場にて復旧作業を試みたが解除できなかったため、焼却炉を立ち下げた。
40	灰溶融・中	3号炉	休炉	H23.11.8	13:00			押込み用空気ファンの軸振動計の値が、運転管理値の上限に近い為、振動点検を各軸受けで行った結果、運転限界を超えている事が分かり、故障停止とした。現在、灰溶融炉は1炉運転中で、次回4号炉が立ち上げ予定のため、3号炉はこのまま休炉とする。
39	世田谷	1号炉	休炉	H23.11.3	5:52	H23.11.5	9:25	「砂循環エレベータ故障」警報が発報し、現場を確認したところ、砂循環エレベータからガス化炉への配管に砂の詰りがあった。解除を試みたが、解除に時間がかかるため焼却
38	杉並	2号炉	休炉	H23.10.18	9:00	H23.10.22	20:00	運転委託の点検でシュートが閉塞しているとの報告があったので、職員にて再点検を行った結果、閉塞と判明したので安全作業要領に基づく解除作業を行うために炉を立
37	灰溶融・世	1号炉	休炉	H23.10.13	17:14	H23.11.2	5:00	通常の傾動作業後に現場を点検したところ、炉体点検蓋より水漏れがあった。補修するために休炉とした。
36	江戸川	2号炉	休炉	H23.10.10	9:30	H23.10.14	11:30	ボイラドラム付レベル発信器用元弁の弁箱（ボディ）の破孔部より少量の白煙（蒸気洩れ）を発見した。弁交換のため2号焼却炉を立ち下げた。
35	世田谷	2号炉	休炉	H23.9.27	17:22	H23.10.4	11:30	スラグランスが流下口内に入ったまま抜けなくなった。引き抜きを試みたが、復旧に時間がかかるため焼却炉を立下げた。
34	葛飾	1号炉	休炉	H23.9.21	3:46			第1ボイラダストコンベヤのショックリレーが多発し、ボイラダストの排出が出来なくなった。復旧を試みたが状況が改善しなかったため、焼却炉を立ち下げた。なお、このまま
33	葛飾	1号炉	休炉	H23.9.17	3:56	H23.9.20	11:27	主灰排出装置で渋滞が発生し、当該装置出口シュートブリッジによる灰の堆積が予想されたため、焼却炉を立ち下げた。
32	世田谷	1号炉	休炉	H23.9.8	13:50	H23.9.10	12:07	砂循環エレベータからガス化炉への配管に砂の詰りがあった。砂を解除したところ針金等が配管の途中に引っかかっていた。
31	世田谷	1号炉	休炉	H23.9.6	20:23	H23.9.7	20:03	破碎ごみフラップダンパ上部でごみが詰まって、ごみが焼却炉に投入できなくなった。

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
30	中防・破碎		休炉	H23.9.4	16:33	H23.9.13	15:05	不燃物抜出装置Aのサーマルリレー動作したので原因を調査したところ、電動機が焼付いた状態になっていた。
29	多摩川	2号炉	休炉	H23.8.30	4:12	H23.9.3	12:27	搬送側コンベヤチェーンが立上り部にてレール押さえの上に乗り上げコンベヤが作動しなくなった。
28	港	3号炉	休炉	H23.7.28	21:20	H23.8.6	9:52	飛灰搬送用切替コンベヤが故障停止した。調査の結果、反応蒸発塔内噴霧ノズルからの水噴霧量過多により、集合コンベヤから混練装置まで飛灰が固着していたので、復
27	中防・破碎		休炉	H23.7.27	11:00	H23.8.17	15:00	砂分級装置のショックリーが作動したので異物を除去したが、除去しきれずに残った異物が障害となって砂循環が維持できなくなったため立ち下げた。
26	足立	2号炉	休炉	H23.7.25	11:30	H23.7.30	9:34	2号№2自工場主灰コンベヤがトリップしたため、解除作業を行ったところ乾燥帯部分のものと思われる火格子が発見された。補修作業を行うため焼却炉を立ち下げた。
25	光が丘	1号炉	休炉	H23.7.18	0:35	H23.7.25	23:05	「1号ガス再加熱器差圧"高"」警報が発報した。ガス再加熱器下のフィンチューブ間への異物の詰りが推測され、異物を除去するために焼却炉を立ち下げた。
24	有明	1号炉	休炉	H23.7.7	12:10	H23.7.22	14:04	ボイラ下シュートの灰詰まりもしくはロータリーバルブの噛みこみによりロータリーバルブが停止した。
23	足立	2号炉	休炉	H23.6.28	21:03	H23.7.1	2:20	2号焼却炉のストブロー、飛灰装置、減温塔、集塵機の制御を調整する中央監視盤PLCの異常アラームが多発し、減温塔のエアと水の噴霧不具合等が生じた。
22	有明	1号炉	休炉	H23.6.22	18:26	H23.6.24	14:15	ロータリーバルブに耐火物が噛み込んだことによりロータリーバルブが停止した。
21	千歳	共通	停止	H23.6.21	4:34	H23.6.21	20:30	2号ごみクレーンが積替中に6番ゲート(A-6)付近で自動停止し電源が落ち、再投入が出来ず、運転不能となった。
20	光が丘	1号炉	休炉	H23.6.11	23:25	H23.6.16	18:07	「1号炉シフティング異常」警報が発報した。灰の堆積を推測し、シュート部を槌打するも解消できないため焼却炉を立ち下げた。
19	足立	共通	停止	H23.1.19	15:35	H23.6.1	19:21	1月19日に発生した比率差動継電器の誤動作による蒸気タービン発電機重故障について、調査の結果交換を行うことになった。
18	有明	共通	休炉	H23.5.28	4:00	H23.5.31	10:45	高圧蒸気溜め上部入口弁フランジ部、及び抽気蒸気溜めマンホールより蒸気漏れ発見。1号炉をシーケンスにより立ち下げた。
17	目黒	共通	休炉	H23.5.28	7:51	H23.5.31	14:50	計装用分岐盤(BL 16盤)のMCB52LF112(一般計装用電源)の漏電によりMCBがトリップしたため、ごみクレーン、灰クレーン、ITVモニタ、アンモニア注入ポンプが停止した。
16	葛飾	共通	停止	H23.5.24	20:30	H23.5.25	3:38	手動運転によるごみバンカ内のごみ積替え作業中に、№1ごみクレーンの異常が発生した。そのまま格納を行い点検を行ったところ、バケットシェルの1本が破断していた。
15	杉並	1号炉	-	H23.5.25	4:15	H23.5.25	10:15	塩化水素除去設備の補機冷却液ポンプBが故障停止し塩化水素除去設備がバイパスに切り替わったため緊急立ち下げを行った。
14	葛飾	共通	停止	H23.5.23	2:36	H23.5.27	18:00	ごみバンカ監視カメラの映像から№2ごみクレーンの異常が確認されたので、クレーン操作室にて格納を行い点検を行ったところ、バケットシェルの1本が破断していた。当時は自動運転
13	多摩川	1号炉	-	H23.5.13	21:26	H23.5.15	1:12	ゴミバンカーゲート7落口スロープの鉄板が脱落し、投入されコンベヤに引っかかった。
12	灰溶融・世	1号炉	休炉	H23.5.8	12:57	H23.9.26	21:00	灰溶融炉炉底電極部に赤熱が見られたので確認するため休炉した。
11	墨田	共通	停止	H23.3.22	15:00	H23.5.1	14:20	タービン出力に制限がかかり、正常に上昇しなかった。蒸気加減弁内部の不具合が考えられるので、点検のためタービンを立ち下げた。
10	大田第一	1号炉	休炉	H23.5.1	18:01	H23.5.27	9:27	1号炉飛灰空気輸送装置故障発報(輸送弁故障及びタンクレベルH)。輸送弁動作状況確認及びタンク内の詰まり解除のため、焼却炉を停止した。
9	渋谷	1号炉	休炉	H23.4.28	16:10	H23.5.10	7:52	蒸気式ガス再加熱器(SGH)への蒸気流入量が著しく増加した。また、純水補給量も増加したことにより、SGH内部の異常が予見されたため、焼却炉を停止した。
8	杉並	1号炉	-	H23.4.26	9:00	H23.4.26	13:30	1号灰コンベヤチェーン貼り調整用軸受の不良を発見したため立ち下げた。
7	多摩川	2号炉	休炉	H23.4.23	2:03	H23.5.22	1:54	「集じん器出口ガスばいじん濃度上上限」警報が発報した。点検の結果、計器の誤作動がないことを確認し、調査のために焼却炉を立ち下げた。
6	有明	共通	停止	H23.4.19	7:08	H23.4.19	20:20	蒸気タービン発電機AVR故障の為、発電機トリップした。発電機室励磁機盤内AVR故障、復帰ボタンを押してタービン起動シーケンスを開始したが再びAVR故障で発電機ト
5	江戸川	1号炉	休炉	H23.4.18	15:00	H23.4.28	12:10	ボイラ出口圧力の低下(ボイラ内圧損が上昇)を確認し推移を観察していたが、ボイラ出口圧力がさらに低下しているため、焼却炉を停止し、清掃を実施する。
4	世田谷	1号炉	休炉	H23.4.13	22:20	H23.4.25	10:48	ボイラ下ダスト排出コンベヤ故障が発報した。正転・逆転運転を試みるも復旧しないため、焼却炉を立下げて内部点検する。
2	足立	共通	停止	H23.4.3	18:30	H23.4.5	18:50	点検時に、タービン暖気用調節弁ドレン配管フランジより蒸気漏れがあることを発見した。増し締めを行ったが、漏れがとまらないためタービン発電機を立ち下げた。
3	世田谷	1号炉	休炉	H23.4.1	11:30	H23.4.12	11:14	ガス化炉の流動不良が起こり、流動層圧力の変動が大きくなった。改善操作を試みたが流動不良が解消しないため焼却炉を立ち下げた。
1	品川	2号炉	休炉	H23.3.28	12:20	H23.4.7	14:11	3月28日運転係より、2号ろ過式集じん器第1室の灰の出が悪いとの報告があり、翌29日より第1室を閉鎖して解除を試みたが復帰しないので炉を立ち下げた。
平成22年度(2010年度)								
連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
88	足立	2号炉	休炉	H23.3.28	14:20	H23.3.31	14:43	燃焼ストーカ下シュート部で煙が出ているのを発見した。ごみ投入を停止して点検窓より炉内を確認したところ、後燃焼ストーカ上に脱落した火格子が確認された。補修する
87	足立	1号炉	休炉	H23.3.23	8:00			蒸発量に比べてボイラ給水量の増加が確認された。また、通常運転時より純水使用量の増加も確認された。ボイラ給水系統の点検を実施したが異常が見つからなかったの

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
86	葛飾	2号炉	休炉	H23.3.22	10:30	H23.3.29	11:16	ボイラドラム付き圧力計取出し配管中、止弁の1次側継手部より蒸気漏れを発見した。増し締めしたが漏れが止まらないため焼却炉を立ち下げた。
85	有明	2号炉	休炉	H23.3.12	15:00	H23.3.24	15:46	ボイラ下シュートの温度計指示が低いことに気づき、ボイラ灰によるシュートの閉塞と判断した。以後、下流側ダストコンベアの点検口より搬出される灰の量を観察しつつ状況
84	江戸川	2号炉	休炉	H23.3.2	10:00	H23.3.28	17:45	ボイラ出口圧力の低下(ボイラ内圧損が上昇)を確認後、推移を観察していたがさらにボイラ出口圧力が低下したため、焼却炉を停止した。
83	灰溶融・多摩	1号炉	休炉	H23.3.14	10:43			「集じん器一括故障」警報が発報し、ダスト排出装置が停止した。現場確認するとダスト排出装置の軸受破損かスクレーパ部に異物噛込みが推測されたので灰溶融炉を休炉
82	品川	2号炉	休炉	H23.2.23	2:25	H23.3.17	12:51	№3燃焼ストーカ上のごみ層厚がストーカ上流側より高くなったので計器の点検及び導圧管を交換したが正常値であった。また、導圧管より炉内を覗くとストーカ下部内に灰
81	灰溶融・多摩	1号炉	休炉	H23.3.4	11:00	H23.3.8	16:00	灰溶融炉中央制御室にて監視中、後燃焼室ブッシャの不動作を発見し点検したところ、後進工程になっていたが動いていないことを確認した。ダスト・塩塊等の影響による
80	灰溶融・品川	2号炉	休炉	H23.2.23	8:45	H23.3.8	20:30	溶融排ガス集じん器の「ロータスクレーパ電流値上限」警報が発報した。点検するとホッパー槌打時に一時的な灰搬出があったが、その後は灰が出てこない。ホッパー部の堆積灰を除
79	中央	1号炉	休炉	H23.2.22	18:17	H23.2.26	8:38	「ボイラ灰搬出装置故障」警報が発報したので点検すると、ボイラ下ホッパーシュートで灰詰まりを確認した。シュートを槌打するも解除しないため焼却炉を立ち下げた。
78	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H23.2.1	0:50	H23.2.9	14:33	灰溶融炉スラグ室(B)の壁面にスラグが付着してしまい、出滓するスラグが水砕水槽に導けなくなったため灰溶融炉を停止した。
77	多摩川	1号炉	休炉	H23.1.21	2:06	H23.1.23	8:00	給じん装置上面スクレーパ用カバーが脱落したため、休炉し補修する。
76	世田谷	2号炉	休炉	H23.1.15	20:50	H23.1.23	11:20	ガス化炉の流動不良が起こり、流動層温度の低下が発生した。改善操作を試みたが流動不良が解消しないため、調査、補修するため焼却炉を立ち下げた。
75	杉並	1号炉	休炉	H23.1.12	9:00	H23.1.24	0:40	炉内圧力が上昇し、誘引ファンの負荷が増大した。焼却量の減量運転及びボイラーストブローを実施したが、改善されないため焼却炉を停止した。
74	新江東	2号炉	休炉	H23.1.11	1:00	H23.1.20	11:16	主灰シュートブリッジの警報が発報したため、ブリッジ解除装置で復旧を試みたが、解除できないため焼却炉を立ち下げた。
73	渋谷	1号炉	休炉	H23.1.1	12:48	H23.1.3	10:55	「不燃物搬出装置№2機器異常」警報が発報し過電流にてトリップした。解除するため2軸スクリュコンベアを正転、逆転運転したが解除不可能のため焼却炉を立ち下げた。
72	灰溶融・葛飾	2号炉	休炉	H23.12.24	13:24	H23.1.19	8:30	「主電極昇降装置電気故障」警報が多発した。主電極昇降装置点検のため、2号灰溶融炉を立ち下げた。
71	世田谷	2号炉	休炉	H22.12.21	13:00	H23.1.4	11:08	点検時、砂分級装置ケーシング部より砂漏れを発見した。調査・補修するため焼却炉を立ち下げた。
70	品川	2号炉	休炉	H22.12.12	0:39	H22.12.23	15:18	「集じん器1スクリュコンベア電流値PV上限」警報が多発した。灰搬出量が少量であったため槌打を実施していたが、通常搬出量に戻らなかったため焼却炉を立ち下げた。
69	大田第二	2号炉	休炉	H22.12.19	12:09	H22.12.22	8:00	飛灰空気輸送装置「ブロータンク圧力 高」の警報が発報した。点検の結果、ブロータンク内部で灰詰りが発生しており、詰りを解除するため焼却炉を停止した。
68	品川	1号炉	休炉	H22.12.11	14:15	H22.12.19	12:17	「1号集じん器2スクリュコンベア電流値PV上限」警報が発報した。槌打を実施したがコンベアからの灰搬出が確認できなかったため焼却炉を立ち下げた。
67	世田谷	2号炉	休炉	H22.11.29	21:13	H22.12.9	11:27	「砂循環エレベータ故障」警報が発報した。砂循環エレベータを再起動するも閉塞箇所があるため、炉内に砂供給ができないので焼却炉を立ち下げた。
66	光が丘	2号炉	休炉	H22.11.29	0:30	H22.12.9	21:10	「ボイラ下ロータリーバルブ(1)トリップ」警報が発報した。現場にて復旧作業を試みたが解除できないため、焼却炉を立ち下げた。
65	千歳	1号炉	休炉	H22.11.27	10:30	H22.12.1	4:15	燃焼ストーカ用駆動装置ロッドシールボックスの下部ケーシングに亀裂が生じ、炉内からの煙等が漏れいのため焼却炉を立ち下げた。
64	光が丘	1号炉	休炉	H22.11.15	17:00	H22.12.4	20:05	蒸気式ガス再加热器入口排ガス温度が、管理値を下回るため調査を行ってきたが、原因を特定できない。よって、内部点検するため焼却炉を立ち下げた。
63	ガス化・世田谷	1号炉	休炉	H22.11.22	13:00	H22.12.1	12:30	炉内散気管への炉体ケーシング接続部から空気漏れを発見した。補修するため焼却炉を立ち下げた。
62	中防・破碎		休炉	H22.11.16	9:00	H22.11.27	4:18	循環ファンの軸受部からの異音発生について経過観察していたところ、交換の判断により焼却炉を立ち下げた。
61	品川	2号炉	休炉	H22.11.18	9:25	H22.11.27	14:19	「2号集じん器1スクリュコンベア電流値PV上限」警報が多発した。コンベアからの灰搬出がないため、槌打を実施したが改善しないので焼却炉を立ち下げた。
60	杉並	2号炉	休炉	H22.11.16	0:05	H22.11.20	22:30	「減温塔ダスト搬出コンベア過負荷」にて停止した。正転・逆転運転を繰返し試みたが復旧しないため焼却炉を立ち下げた。以後、マニュアルに従い減温塔点検用マンホー
59	灰溶融・葛飾	2号炉	休炉	H22.11.14	23:09	H22.12.15	4:44	出滓状態の点検時、スラグ出滓口下部シュート付近の水砕水槽天板(縞鋼板)の一部が赤熱していたため、通電を停止した。なお、水膜装置等点検するため灰溶融炉を立
58	灰溶融・中防	1号炉	休炉	H22.11.4	23:50	H22.11.25	13:15	電極継足装置にて、補助電極を継足し後、装置が故障し電極から取り外せなくなり補修するため休炉した。
57	豊島	2号炉	休炉	H22.11.4	8:18			焼却炉内壁面に付着したクリンカが剥離し、そのまま流動層上に横たわり流動不良が発生した。ごみの供給を停止してクリンカの破壊を試みたが砂の流動が復旧せず、焼
56	ガス化・世田谷	2号炉	休炉	H22.10.27	22:52	H22.11.2	11:28	「ボイラ下ダスト排出コンベヤ故障」警報が発報した。正転・逆転運転を試みるも復旧しないため、焼却炉を休炉して内部点検する。
55	ガス化・世田谷	1号炉	休炉	H22.10.25	18:39	H22.11.11	11:42	「減温塔ロータスクレーパ過トルク」警報が発報した。調整し、ロータスクレーパが運転可能となったが、灰の搬出がないため焼却炉を休炉して内部点検を行う。
54	有明	1号炉	休炉	H22.10.22	16:44	H22.10.23	17:27	「主灰シュートブリッジ」警報が発報し、灰冷却水槽からの灰搬出状況を確認後、主灰シュートブリッジ解除装置を作動させたが復旧しないため、焼却炉を立ち下げた。
53	渋谷	1号炉	休炉	H22.9.17	9:30	H22.10.26	20:08	脱気器へ導かれる蒸気式ガス再加热器用ドレン配管より蒸気漏れを発見した。パイプラインに切換え、減圧用オリフイス下流側配管に破孔(4mm程度)した漏れ箇所を確認した。補
52	ガス化・世田谷	2号炉	休炉	H22.10.19	18:30	H22.10.26	10:26	「砂循環エレベータ故障」警報が発報した。点検すると砂循環エレベータの駆動用電動機の軸受が破損し運転不能により、補修するため焼却炉を立ち下げた。
51	品川	2号炉	休炉	H22.10.6	0:31	H22.10.21	18:00	「ろ過式集じん器集じんダスト搬出装置故障」警報が発報した。コンベアからの灰搬出がないため、槌打等の処置を試みたが回復しないので、焼却炉を立ち下げた。

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
50	中防・破碎		休炉	H22.10.7	18:00	H22.10.11	20:00	砂循環装置バケットコンベアの駆動部軸受が破損し、補修するため焼却炉を立ち下げた。
49	豊島	2号炉	休炉	H22.10.5	11:23	H22.10.12	19:43	焼却炉内壁面に付着したクリンカが剥離し、そのまま流動層上に横たわり流動不良が発生した。ごみの供給を停止してクリンカの破壊を試みたが砂の流動が復旧せず、焼
48	杉並	1号炉	休炉	H22.10.5	8:00	H22.11.4	0:00	現状において、ボイラ缶水伝導度が下がり、また通常運転時より純水使用量の増加が確認された。ボイラ給水系統の点検を強化したが異常が見つからなかったため、その
47	有明	2号炉	休炉	H22.9.18	11:00			新たに設置したボイラ下シュート表面の温度計指示値が低いことに気づき、ボイラ灰によるシュートの閉塞と判断した。以後、下流側ダストコンベアの点検口より搬出される灰
46	中防・破碎		休炉	H22.9.26	20:07	H22.9.29	16:50	「ボイラ下ロータリーバルブトリップ」警報が発報し停止した。点検口から確認したところ、ロータリーバルブに噛込みがあり、復旧するため焼却炉を立ち下げた。
45	有明	1号炉	休炉	H22.9.18	11:00	H22.10.3	15:44	巡回点検にて、ボイラ下シュートの触手で表面温度が低いことに気づき、ボイラ灰によるシュートの閉塞と判断した。以後、下流側ダストコンベアの点検口より搬出される灰の
44	有明	T/G	停止	H22.9.21	15:30	H22.9.22	13:44	巡回点検にて、タービン入口蒸気流量発信器取出口弁の「次側フランジ部から蒸気漏れを発見した。直営にて増締めを実施したが蒸気漏れが止まらないため、補修す
43	ガス化・世田谷	2号炉	休炉	H22.9.20	0:54	H22.9.25	11:44	助燃バーナ流量不足により安定運転ができないため、焼却炉を停止し助燃バーナ部を点検清掃する。
42	品川	1号炉	休炉	H22.9.20	18:00	H22.10.8	11:12	ボイラ側壁部より漏水が確認された。ラッキング及び保温材を外し、漏水箇所を特定して修理する必要があるため焼却炉を立ち下げた。
41	豊島	2号炉	休炉	H22.9.13	8:22	H22.9.23	19:45	焼却炉内壁面に付着したクリンカが剥離し、そのまま流動層上に横たわり流動不良が発生した。ごみの供給を停止してクリンカの破壊を試みたが砂の流動が復旧せず、焼
40	光が丘	1号炉	休炉	H22.9.13	11:10			る過式集じん器ホッパ下フライトコンベアが振動しているのを発見した。駆動側コンベアケース内の灰詰まりを解除するも、ホッパより灰の落下が見られず詰まりと判断し、焼
39	品川	T/G	-	H22.9.8	20:45	H22.9.13	14:37	主蒸気止弁取付フランジより蒸気漏れを確認したので蒸気タービンを立ち下げた。なお、蒸気漏れ補修のため1号炉を10日（金）16:32 立ち下げ開始した。
38	品川	1号炉	休炉	H22.9.3	2:29	H22.9.7	14:31	「減温塔ロータリースクレーパー制御盤故障」警報が発報した。槌打及びサーマル設定を3.5A→3.8Aに変更して、正転逆転を繰り返し操作したが動かず復帰できないので焼却炉を立
37	灰溶融・足立	2号炉	休炉	H22.8.19	16:30	H22.8.25	5:08	「2号溶融集じん入口排ガス圧力 低」が発報したので、現場にてダクト等ハンマリングを実施したが復旧しなかった。排ガス減温塔周辺の閉塞が考えられ、解除するため休
36	灰溶融・葛飾	2号炉	休炉	H22.8.19	7:05			「灰供給装置故障」警報が発報し、現場にて点検後運転を再開すると過負荷で停止してしまう。灰供給装置の運転継続ができないため灰溶融炉を立ち下げた。なお、このま
35	有明	1号炉	-	H22.8.17	7:34	H22.8.17	13:16	直流電源装置の整流器基盤が故障し、直流電源の電圧が低下しプラント機器の各制御装置が停止した。その影響でタービン発電機及び1・2号炉のIDFがインターロックで
35	有明	2号炉	-	H22.8.17	7:34	H22.8.17	15:30	
34	千歳	ごみク	停止	H22.8.16	15:30	H22.8.17	11:45	NO.1ごみクレーン巻上げ用ワイヤーロープ(4本中、1本)が断線したため使用を中止する。NO.2ごみクレーンの巻上げ電動機用電磁式ブレーキが過熱したため使用を一時中
34	千歳	ごみク	停止	H22.8.17	2:38	H22.8.17	11:45	
33	中防・破碎	1号炉	休炉	H22.8.9	4:00	H22.8.11	0:08	流動床炉「炉下圧力」が低下したため砂供給ラインを点検すると、砂投入弁付近で針金
32	大田第一	1号炉	休炉	H22.7.14	9:00	H22.7.22	10:03	が絡みつき、炉への砂投入ができない状態のため焼却炉を立ち下げた。
31	灰溶融・品川	2号炉	休炉	H22.7.13	16:02	H22.7.22	23:00	「後燃焼ストーク異常」警報が発報した。ストークのストロークが低下（190→85mm）し始め、調査するも回復が見込めないため焼却炉を立ち下げた。
30	灰溶融・品川	2号炉	休炉	H22.7.13	16:02	H22.7.22	23:00	溶融排ガス冷却器のロータリースクレーパーが過負荷で停止した。クリンカ等による噛みこみと思われ、解除するため灰溶融炉を停止した。
30	灰溶融・世田谷	1号炉	休炉	H22.7.12	22:45	H22.7.15	15:00	「細粒灰貯槽切出装置過トルク」警報が発報した。切出装置のスクリーコンベアのシャフトが折損し回転不能となったため灰溶融炉を停止した。
29	灰溶融・足立	1号炉	休炉	H22.7.11	15:04	H22.7.16	6:00	当該コンベヤが「電流値高」でトリップした。現場を確認したところ、駆動部分でバケットコンベヤの噛み込みによる変形と主務チェーンの破断を発見した。補修のため灰溶融
28	江戸川	1号炉	休炉	H22.7.12	18:57	H22.7.14	11:52	「給じん装置サイクタイムオーバー」の警報により現場確認したところ、油圧駆動シリンダーのロッドが折損しており、ごみの供給が不能となったため、焼却炉を立ち下げた。
27	ガス化・世田谷	2号炉	休炉	H22.7.4	8:35	H22.7.7	9:42	リモート／O盤(分散型制御システム(DCS)と現場計装計器との中継器)の一部からの信号がロック状態となり、制御不能となったため休炉した。
26	ガス化・世田谷	1号炉	休炉	H22.7.2	15:00			ITV監視中、流下口の冷却用冷却水が漏洩しているのを発見した。継続運転ができないため休炉した。なお、このまま中間点検に入る。
25	板橋	1号炉	休炉	H22.7.1	21:21			輻射部ダストコンベアのトルクリミッタが作動し過負荷で停止した。インチング運転等の処置を講じたが復旧に至らず、運転中に作業を行うことは困難と判断し、焼却炉を停止
24	大田第一	1号炉	休炉	H22.6.30	8:15	H22.7.7	5:35	ボイラ下ホッパ部熱電対の温度指示値が下がり傾向のため点検をしたところ、ボイラ1～2パス下ホッパ及びダストシュート部でブリッジが発生した。ブリッジ解除するため1号
23	墨田	1号炉	休炉	H22.6.24	13:00			№1主灰シュートブリッジが発生したため、ホッパブリッジ解除装置による復旧を試みた。解除作業を続けたが復旧は見込めないと判断し焼却炉を立ち下げた。なお、このま
22	豊島	2号炉	休炉	H22.6.23	15:00	H22.7.1	18:36	不燃物抜出装置(2-2系)から不燃物等を抜き出せなくなった。片系の運転では支障が生じるため解除を試みたが、当該装置上部危急ゲート付近まで砂詰まりがあり、炉内
21	ガス化・世田谷	2号炉	休炉	H22.6.18	13:50	H22.6.25	10:00	ガス化溶融炉の炉内圧力制御が不安定になり、継続運転ができないため立ち下げた。
20	葛飾	2号炉	休炉	H22.6.15	10:00	H22.6.24	12:52	乾燥ストーク駆動用ロッド貫通部シール用ジャバラの焼損により、燃焼空気が漏れ出した。耐火材等により補修を試みたが効果がなく、噴出し量が多くなったため焼却炉を立ち
19	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H22.6.12	22:42	H22.6.18	20:08	№1破碎スラグ搬送コンベアのチェーンが破断し停止した。復旧させるまで時間を要するため、1号灰溶融炉を停止した。
18	ガス化・世田谷	2号炉	休炉	H22.6.12	23:03	H22.6.16	8:35	「砂循環エレベータ電流値上限」警報が発報した。現場確認したところ、砂供給装置フ
17	中防・破碎		休炉	H22.6.4	15:00	H22.6.6	21:27	ラップダンパ上部の投入用切替ダンパ付近で砂が詰まっていた。詰まりを解除するた
								脱酸剤薬液配管中、脱気器への注入口付近でピンホールにより蒸気漏れが発生したので休炉した。

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
16	品川	1号炉	休炉	H22.5.29	22:00	H22.6.9	12:56	炉内監視中、主灰シュートから煙が多く発生してきたので現場確認したところ、炉後壁ガラス窓(炉前覗き窓近く)まで灰が堆積しているのを確認した。主灰シュートダウンバの切替操
15	光が丘	2号炉	休炉	H22.5.17	10:00	H22.5.27	20:00	火格子下部ホッパ上部より灰が漏洩しているので、調査・補修するため焼却炉を立ち下げた。
14	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H22.5.17	22:10	H22.6.10	19:05	灰溶融炉の炉体冷却用循環冷却水の熱交換が不具合で、圧力が上昇気味となり気水分離器用シールタンクより蒸気が噴出した。復水器ファン回転数の設定変更等試みたが復旧
13	灰溶融・足立	2号炉	休炉	H22.5.18	12:24	H22.5.21	16:15	№2 破碎スラグ搬送コンベアが「電流値 高」でトリップした。現場を確認したところ、弛んだコンベア主務チェーンの片側がコンベア内に絡まっているのを発見した。補修のため灰溶融炉を休炉した。
12	灰溶融・中野	2号炉	休炉	H22.4.28	20:04			炉室監視モニタにて発光を確認し現場調査したところ、プラズマ直流電源用バスダクト焼損とその近辺に水砕水の漏水を確認した。休炉しこのまま定期点検補修工事に入り、その期間中に調査及び補修を行う。
11	ガス化・世田谷	2号炉	休炉	H22.4.24	13:29	H22.4.28	9:44	「砂分級装置故障」警報が発報した。現場確認したところ、砂分級装置振動モータが地絡していた。補修するため立ち下げた。
10	杉並	1号炉	休炉	H22.4.23	9:02	H22.4.28	18:00	点検の際、ボイラ下部シュート(上流側)を触手したところ、表面温度が高い部位があることに気付いた。灰の堆積を推測し、槌打するも解消できないので焼却炉を立下げた。
9	杉並	1号炉	-	H22.4.21	23:02	H22.4.22	4:00	№1 雑用空気圧縮機の電気故障(地絡)が発生し、共通常用補機C/Cの遮断器が「断」となった。これにより炉用関連機器が停止したため、焼却炉内温度制御が不可となった
9	杉並	2号炉	-	H22.4.21	23:02	H22.4.22	1:30	
8	葛飾	ごみク	停止	H22.4.21	8:00	H22.4.24	14:57	2号ごみクレーンの油圧バケットを巻下げてごみを掴む際、給電ケーブルが4～6mほど弛む。メカにて点検したところ給電ケーブル用巻上装置の減速機故障と判明した。補修のため
7	灰溶融・世田谷	1号炉	休炉	H22.4.19	6:37	H22.6.29	19:00	「1号№1 プラズマ重故障」にてプラズマが失火した。現場を確認したところプラズマ電源装置の基盤に焼損した箇所を発見したので灰溶融炉を休炉した。
6	中防・破碎		休炉	H22.4.17	3:38	H22.4.17	21:32	砂分級装置「サーマルトリップ」が発生した。砂分級装置振動コンベアモータの電源ケーブルが振動により、断線が点検の結果判明した。
5	新江東	1号炉	休炉	H22.4.13	9:30	H22.5.20	0:20	燃烧ストーカ駆動装置の炉体ケーシング貫通シール部のジャバラが損傷し、灰等が漏れているのを点検で発見した。補修のため焼却炉を立ち下げた。
4	ガス化・世田谷	1号炉	休炉	H22.4.11	13:50	H22.4.16	9:30	「破碎ごみフラップダンパ上渋滞」警報が発報しつつ、様子を見ながら運転をしていたが、十分なストロークがなくなったため焼却炉を停止した。
3	杉並	2号炉	-	H22.4.11	0:00	H22.4.11	18:00	燃烧ストーカが停止したため、継続運転ができないので焼却炉を立ち下げた。
2	新江東	共通	休炉	H22.4.3	9:23	H22.4.6	9:59	№1 排気復水ポンプ(B)の絶縁不良で「非常用動力低圧フィーダ」が地絡を検出して遮断した。運転中の1・2号焼却炉のうち、非常停止後の再立上げ操作で時間を要した1
1	品川	2号炉	休炉	H22.3.28	0:36	H22.4.13	6:18	「乾燥ストーカ渋滞(右・左列)」の警報が発報しつつ、様子を見ながら運転をしていたが、十分なストロークがなくなったため焼却炉を停止した。
平成21年度(2009年度)								
連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
83	足立	1号炉	休炉	H22.3.29	4:27	H22.4.2	22:12	№3 燃烧1 - 2帯の「ストーカリミット異常(サイクルタイムオーバー)」警報がストーカ動作の度発報した。点検窓より炉内を確認したところ、後燃烧ストーカ上に脱落した火格
82	渋谷	1号炉	休炉	H22.3.24	22:24	H22.3.25	18:22	「炉内圧高」の警報が発報し、インターロックにより焼却炉が非常停止したので調査する。また、蒸発量が確保できないため、蒸気タービンを停止した。
81	ガス化・世田谷	1号炉	休炉	H22.3.16	4:56	H22.3.27	11:44	水分を多量に含んだ砂の影響で「不燃物・鉄分搬送コンベア過トルク」の警報が発生した。解除・調査するため休炉した。
80	杉並	1号炉	-	H22.3.5	9:30	H22.3.16	0:00	機器月例点検で幾分高めの振動測定値の結果があった以降、ファンのベース取付ボルトの増締め等実施し、経過観察してきたが次第に振動が増大し、継続の運転が困難
79	千歳	1号炉	-	H22.3.6	13:23	H22.3.6	20:43	ストーカ制御用のシーケンサ異常により、ごみフィーダ及び各ストーカが運転不能となったため、蒸気タービン発電機及び焼却炉を立下げた。
78	大田第一	3号炉	休炉	H22.2.28	10:43	H22.3.2	12:47	「灰搬出コンベア(2)故障」警報が発報。コンベアチェーンの変形及びリンクプレート脱落により補修のため、稼働中の2,3号炉及び蒸気タービン発電機を立下げた。
78	大田第一	2号炉	休炉	H22.2.28	10:43			「灰搬出コンベア(2)故障」警報が発報。コンベアチェーンの変形及びリンクプレート脱落により補修のため、稼働中の2,3号炉及び蒸気タービン発電機を立下げた。
77	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H22.2.26	21:15	H22.3.6	3:05	溶融スラグ室 Bの出滓部が閉塞したので解除するため、溶融炉を休炉した。
76	多摩川	2号炉	休炉	H22.2.3	15:00	H22.2.13	9:59	回転ストーカ炉ロータリージョイントのドレン配管より蒸気漏えいのため、休炉し補修する。
75	足立	2号炉	休炉	H22.1.16	14:00	H22.2.26	11:05	21年度定期点検補修で誘引ファン流体継手の軸ずれが判明した。部品交換での補修が必要なため補修準備が整うまで、軸振動・異音の監視を強化し運転を継続した。この度、補修準備が整ったので休炉し補修する。
74	豊島	1号炉	休炉	H22.1.22	17:05	H22.1.28	17:01	ボイラ上部ケーシングの隙間から水蒸気が漏洩しているため調査したところ、過熱低減器給水配管フランジ部からの水漏れを発見した。当該箇所はボイラケーシング内にあるため、焼却炉を立下げて補修する。
73	杉並	1号炉	-	H22.1.18	22:30	H22.1.20	3:20	飛灰搬送装置、「リフトタンク下部閉塞」警報が発報したので、外部より槌打作業を試みたが解除できず、飛灰搬送が不可能となったため焼却炉を立下げた。
72	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H22.1.17	4:45	H22.2.15	2:54	溶融排ガス冷却器のロータリースクレーバが過負荷で停止したため、灰溶融炉を停止した。

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
71	灰溶融・足立	1号炉	休炉	H22.1.15	15:10			計画停止するため傾動作業中、出滓口下部のスラグシュートに破孔が生じたので灰溶融炉を緊急停止した。なお、このまま計画停止し補修する。
70	多摩川	共通	停止	H21.12.30	17:54	H22.1.6	19:30	2直時点検のため、ごみクレーンA号機の油圧バケットをホッパステージに格納しようとしたところ、「ケーブルリール用MCCB(ブレーカー)断」の警報が発報した。リセット操作を試みたが復旧でプラズマ重故障警報「主電極プラズマ電圧H」発報時、中制御監視モニタにて炉天井部でスパーク確認及び溶融炉非常停止した。スパークの発生により、大天井フランジ部が破損し、炉蓋冷却用冷却水が漏水した。なお、このまま定期点検補修(H220116～)に入る。
69	灰溶融・中防	2号炉	休炉	H21.12.19	19:23			油圧駆動式ごみフィーダ(中央部)の車輪が一部、異音を発し回転不能となり継続的な運転が
68	千歳	1号炉	休炉	H21.12.18	9:00	H21.12.21	16:50	点検時、ボイラ下シュート(上流側)を触手により、ケーシング表面温度が一部低いことに気付いた。灰の堆積を推測し、槌打するも解消できないので焼却炉を立下げた。
67	光が丘	2号炉	休炉	H21.12.12	11:00	H21.12.16	18:00	炉床温度を管理する温度指示値が3点すべて指示不良となり、炉床温度制御が困難になったため、炉を立下げた。
66	中防・破碎		休炉	H21.12.10	14:30	H21.12.22	11:12	巡回点検中、№3燃焼溶融炉用空気ダクトより漏れを発見した。補修するため焼却炉を停止した。
65	世田谷	1号炉	休炉	H21.12.8	15:00	H21.12.9	16:57	炉床温度にばらつきと低下現象が現れ、散気管圧力も低下し始めた。以後流動層の流動不良が生じており、回復しないため焼却炉を停止した。
64	豊島	2号炉	休炉	H21.12.8	11:00	H21.12.23	21:32	飛灰空気輸送装置の故障警報が発報したため、現場確認したところ輸送タンク上部の「投入ホッパレベルH」が発生。原因はホッパ下部の投入弁動作不良と推定され補修のため、炉を立下げた。
63	大田第一	3号炉	休炉	H21.12.4	22:37	H21.12.11	6:01	「炉底電極アース電流上限」警報が発報し、プラズマーチがインターロックで停止したので調査する。
62	灰溶融・世田谷	1号炉	休炉	H21.12.2	6:15	H21.12.7	16:00	煙突入口ばいじん濃度計の指示値が自己規制値を超過したためごみ焼却を停止した。調査の結果、蒸気式再加熱器の蒸気漏れが発見され、数値上昇の原因と判明したので直ちに焼却炉を停止した。
61	板橋	2号炉	休炉	H21.11.19	1:30	H21.12.1	12:56	主灰シュートレベル「L」警報が発報したため現場確認したところ、灰の堆積が確認された。中央制御室より遠隔操作にてブリッジ解除装置を運転したが、解除できなかったため炉を立下げた。
60	大田第一	3号炉	休炉	H21.11.17	2:38	H21.11.20	5:35	巡回点検にて、スラグ排出コンベアチェーン・リンクの片側が破断及びもう一方が駆動側スプロケットから脱落し、空運転しているのを発見した。補修するため焼却炉を停止
59	世田谷	2号炉	休炉	H21.11.12	6:45	H21.11.14	18:16	ボイラ二次燃焼室用ダスト排出コンベアよりダストが排出しない。二次燃焼室下部の詰まりでありと判断し、炉を停止した。
58	世田谷	1号炉	休炉	H21.11.3	11:00	H21.11.28	13:39	破碎ごみ搬送装置及び上流側破碎ごみホッパシュート部でごみブリッジが発生したので解除するため休炉した。
57	世田谷	1号炉	休炉	H21.11.5	22:05	H21.11.6	14:58	主灰搬出装置「機器異常」警報発報。ブッシュストロークが前進端まで運転していないことを確認。非常灰バンカ系統へのシュート詰まりと推測し、解除するため焼却炉を立
56	葛飾	1号炉	休炉	H21.11.2	1:50	H21.11.5	12:28	給じん機のバドル装置が「給じん機電気故障」警報でトリップした。給じん機内のごみを取除き、再起動操作するが運転できず。調査・補修するため焼却炉を立下げた。
55	豊島	2号炉	休炉	H21.10.25	3:44	H21.10.28	16:02	砂分級装置のリグロフェロー(板ばね)が破損しているのを発見した。このままでは、運転継続は困難と判断し補修するため炉停止した。
54	中防・破碎		休炉	H21.10.24	15:00	H21.10.27	11:40	不燃物抜出装置のスクルー軸受部より砂の流出が止まらなくなった。軸受部グランドパッキンの損耗と思われ、補修するため休炉した。
53	世田谷	2号炉	休炉	H21.10.24	7:00	H21.10.30	8:41	低負荷運転のため溶融燃焼室温度が安定せず、燃焼室に付着していたダスト(クリンカ状)が多量に落下した。このため溶融燃焼室ダストコンベアが過負荷でトリップし運転不能となり、溶融飛灰の搬出ができなくなったため炉停止した。このまま計画停止に入
52	灰溶融・葛飾	1号炉	休炉	H21.10.15	15:05			タービン発電機立上げ中、東京電力㈱との同期投入後「周波数低」警報が発報し、発電機が解列した。調査の結果、周波数継電器の故障とわかり、蒸気タービンを立下げ
51	目黒	T/G	停止	H21.10.14	16:10	H21.10.23	14:21	№2自工場主灰コンベアがトリップした。調査したところ、コンベア内より火格子を発見したので、復旧するため焼却炉を立下げた。
50	足立	1号炉	休炉	H21.10.13	0:48	H21.10.16	11:22	自工場飛灰集合コンベア(B)がトリップした。コンベアチェーン・スクレーバ及びケーシング破損により故障。整備係にてチェーン交換等の処置を講じたが、復旧に至らず。現状での復旧は困難と判断し、焼却炉を停止した。
49	板橋	2号炉	休炉	H21.10.11	21:37	H21.10.18	9:33	蒸気式ガス再加熱器用ドレンタンクから脱気器へのドレン戻り配管にピンホールが発生し、蒸気漏れが激しくなったため焼却炉を停止した。
48	目黒	2号炉	休炉	H21.10.10	15:00	H21.10.13	16:17	溶融スラグ出滓口廻りの定常はつり作業中、出滓口カバーから漏水を発見した。調査・補修するため溶融炉を停止した。
47	灰溶融・中防	2号炉	休炉	H21.10.6	10:30	H21.11.17	17:54	不燃物抜出装置のスクルー軸受部より砂の噴出があった。軸受部グランドパッキンの損耗と思われ、補修するため休炉した。
46	世田谷	1号炉	休炉	H21.10.6	17:00	H21.10.10	9:15	スラグ処理設備の水砕水槽コンベアが過負荷にてトリップした。コンベアの運転が再開できないのでスラグの搬送が不能のため休炉した。
45	灰溶融・足立	2号炉	休炉	H21.10.5	16:20	H21.10.8	2:30	砂供給槽出口付近で不燃物による閉塞が生じたため、焼却炉へ砂供給することができなくなり、炉停止した。
44	中防・破碎		休炉	H21.9.22	23:33	H21.10.2	16:10	ストーカ下コンベアの落口から非常時主灰搬出装置にかけて灰が堆積・詰まりが発生し、灰の搬送ができないため焼却炉を停止した。
43	品川	2号炉	休炉	H21.9.19	23:42	H21.9.22	14:02	「砂循環エレベータ電流上限値」の故障警報が発報した。点検後、砂循環エレベータを再起動するも閉塞箇所あるため運転できず。閉塞箇所を解除するため焼却炉を停止し
42	世田谷	1号炉	休炉	H21.9.13	10:47	H21.9.16	11:05	断続的な保持運転で様子を見ていたが、出滓樋での溶融スラグの固着・堆積が重なり、閉塞状態となったため立下げた。なお、このまま計画停止に入る。
41	灰溶融・葛飾	2号炉	休炉	H21.9.10	1:03			「№1灰押出装置、燃焼帯ストーカ下二重ダンパ故障」警報で、ストーカの脱落により灰搬出不良、金属類・焼却灰等の落下を確認した。補修するため焼却炉を立下げた。
40	足立	2号炉	休炉	H21.9.2	17:26	H21.9.6	11:22	

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
39	豊島	1号炉	休炉	H21.8.29	8:15	H21.9.4	19:38	不燃物を灰バンカ(A)または(B)に振分ける焼却灰振分コンベアのガイドレールが脱落した。片方向の運転は支障ないが、両方向の運転が必要なため、休炉して補修する。
38	大田第一	2号炉	休炉	H21.8.24	16:10			「灰搬出コンベア(2)故障」警報発報。コンベアの主務チェーンリンクがスプロケットから脱落し変形したので補修のため休炉した。なお、このまま定期点検補修工事に入る。
37	中防・破碎		休炉	H21.8.24	3:05	H21.9.11	15:20	リグロフェロー(板ばね)が破損したため砂分級装置が停止した。砂の循環及び不燃物の排出が不可能となったために炉を立下げた。
36	港	2号炉	休炉	H21.8.13	17:48	H21.8.18	22:38	飛灰搬送用切替コンベヤが「電流値上限」警報で停止した。調査の結果、反応蒸発塔内噴霧ノズルからの水噴霧状態不良により、切替コンベヤケース内に飛灰が固着したので、復旧するため焼却炉を立下げた。
35	新江東	1号炉	休炉	H21.8.7	2:19	H21.8.13	16:49	No1ボイラダストコンベア(R)のトルクリミッタが作動し停止した。復旧操作を試みるが運転できないため焼却炉を立下げた。
34	世田谷	2号炉	休炉	H21.8.2	6:40	H21.8.4	8:41	「砂循環エレベータ故障」発報によりコンベアが停止した。復旧できないため焼却炉を立下げた。
33	目黒	1号炉	休炉	H21.7.29	8:57	H21.8.8	15:18	後燃焼右側壁の耐火物が剥離(およそ1㎡)したため焼却炉を停止した。
32	品川	1号炉	休炉	H21.7.24	11:22	H21.8.1	11:16	No1ボイラ灰搬出コンベアチェーンが破断し、コンベアが稼働できないため焼却炉を停止した。
31	灰溶融・世田谷	2号炉	休炉	H21.7.20	15:00	H21.7.24	16:00	保全作業のため溶融炉を傾動しプラズマを停止した。炉内温度が下がった後点検口より確認したところ、炉蓋排気口部分の脱落を発見した。保全作業とあわせ補修を実施
30	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H21.7.16	0:20			スラグ搬送コンベアチェーンのリンクプレートが変形し、スプロケットから脱落してコンベアが稼働できないため溶融炉を停止した。なお、このまま定期保全に入る。
29	足立	ごみク	停止	H21.7.15	11:31	H21.7.15	13:44	1・2・3号ごみクレーンの制御異常により緊急停止操作にてクレーンを停止した。
28	灰溶融・足立	1号炉	休炉	H21.7.11	13:05			点検時に、灰溶融炉の炉蓋の一部に浮き上がりを見つけたので、調査・補修のため休炉した。
27	千歳	1号炉	休炉	H21.7.8	9:30	H21.7.14	18:02	【調査(故障原因の究明及び補修要領)が確定したので9月30日から開始した定期点検乾燥(右)ストーカ駆動装置のロッドシール部シールボックスのシール不良及びジャバラ破損のため焼却炉を立下げた。
26	足立	1号炉	休炉	H21.7.6	0:13	H21.7.10	9:07	2ラン燃焼2 - 2帯ストーカの1箇所が脱落した。補修のため焼却炉を立下げた。
25	世田谷	1号炉	休炉	H21.6.30	23:07	H21.7.3	10:11	「No1不燃物搬送コンベア過トルク」の警報でコンベアが停止した。点検したところ、スプロケット(反駆動側)からチェーン・リンクが脱落しており、補修するため休炉した。
24	灰溶融・足立	2号炉	休炉	H21.6.28	20:20	H21.7.1	17:30	ろ過式集じん機下のロータリースクレーパーが過負荷でトリップした。点検口より著しい灰の堆積を確認し、解除作業をするため溶融炉を停止した。
23	中央	2号炉	休炉	H21.6.29	8:20	H21.7.7	9:09	ボイラ前面水管下部管寄せ(右)付きドレン弁(20A)本体のフランジ溶接部ピンホールより蒸気が漏れ、安全を確保するため焼却炉を立下げてドレン弁を交換する。
22	新江東	3号炉	休炉	H21.6.29	3:36	H21.6.30	1:43	「エコマイダスト搬送コンベア(R)電流値上限」警報で現場確認したところ、コンベア内に灰が堆積していた。また、コンベアの下部シュートも詰まっており、解除作業を行ったが短時間で復旧できないため焼却炉を立下げた。
21	目黒	1号炉	休炉	H21.6.24	20:00	H21.7.9	15:35	2直点検時に、乾燥火格子下シュートが閉塞しているのを見つけた。調査の結果、シュート内完全閉塞と判断し、焼却炉を停止した。
20	杉並	共通	停止	H21.6.19	14:30	H21.6.25		1号ごみクレーン運転中に異音が発生したので点検したところ、巻上げドラム用軸受(反減速機側)破損を確認したので使用を中止した。
19	豊島	T/G	停止	H21.6.19	10:00	H21.6.23	12:51	蒸気タービン減速機の軸封部から油漏れが確認されたため、調査と補修のために蒸気タービン発電機を停止した。
18	杉並	2号炉	休炉	H21.6.17	18:00	H21.7.9	16:25	炉内圧力の変動に伴う、誘引ファンの負荷が増大したため焼却炉を立下げた。(先に停止・復旧した1号炉と同様な現象(ボイラ水管、水平蒸発管のダスト付着による閉塞)
17	新江東	3号炉	休炉	H21.6.12	16:00	H21.6.18	12:15	蒸気式空気予熱器(SAH)のドレン配管中、脱気器入口にある仕切弁のボンネット部より蒸気漏れを確認した。増締めすれども漏れとまらず補修するため休炉した。
16	豊島	1号炉	休炉	H21.6.11	11:00	H21.6.12	20:15	排ガス洗浄塔入口ダンパ点検用マンホールより排ガスの漏れを確認した。マンホールの腐食が考えられ、炉を停止して補修する必要があると判断し、1号炉を立下げた。
15	豊島	共通	休炉	H21.6.8	5:29	H21.6.8	8:39	東京電力の原因で送電線の電圧低下が発生。電気設備の受電用主変圧器二次遮断器(52S)がトリップした。前日に蒸気タービン発電機が故障で停止していたため、1号焼却炉が非常停止となった。
14	豊島	共通	停止	H21.6.7	8:47	H21.6.9	15:35	蒸気タービン発電機AVR(自動電圧調整器)に発電機電圧を下げ方向の信号が継続して入力されたため、「AVR軽故障」が発報、その直後に界磁喪失継電器が動作した。その結果、「発電機重大故障」でタービンがトリップした。(1号炉は運転中、2号炉は定期点検中)
13	中防・破碎		休炉	H21.6.5	18:27	H21.6.11	13:02	計装・自動制御設備の400V用一般動力系統のうち、ごみ供給機等焼却設備のシーケンサ電源ユニットが故障し、機器が停止した。中央操作卓より機器の操作が不能のため
12	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H21.6.2	3:30	H21.6.8	13:15	溶融炉本体の前壁冷却水ヘッダー部より水漏れが発生したため、溶融炉を停止した。
11	北	1号炉	休炉	H21.4.28	14:00	H21.6.2	12:15	給じん装置(フィードテーブル)の先端鋳物冷却用冷却水が漏れいしているため、補修のため焼却炉を停止した。
10	新江東	3号炉	休炉	H21.5.10	11:30	H21.5.12	17:31	蒸気式空気余熱器(SAH)の戻り蒸気配管中、脱気器入口にある仕切弁フランジ部より蒸気漏れが発生したので休炉した。
9	光が丘	1号炉	休炉	H21.5.9	0:20	H21.5.11	18:06	No.1ボイラロータリーパブルが過負荷にてトリップした。再起動しても運転できず焼却炉を立下げた。
8	大田第一	1号炉	休炉	H21.4.24	19:42	H21.4.29	4:52	灰搬送コンベア(1)の底板・スクレーパ間に鉄パイプが噛み込み過負荷にて停止した。コンベアチェーンリンクも変形しており焼却炉を立下げた。
		2号炉		H21.4.24	19:42	H21.4.28	7:23	

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
7	大田第一	1号炉	休炉	H21.4.21	15:10	H21.4.24	7:50	「電子計算機分電盤」内、排ガス分析計系統の主幹ケーブル端子部が赤熱し、周辺絶縁部が損傷した。調査・補修するには主電源を「断」するため連続測定が不能になるので焼却炉を停止した。
		2号炉		H21.4.21	15:10	H21.4.23	14:37	
		3号炉		H21.4.21	15:10	H21.4.21	18:35	
6	ガス化・世田谷	2号炉	休炉	H21.4.13	16:32	H21.4.24	9:55	点検時、砂供給装置フラップダンパの不調な動きを発見した。強制的にダンパ動かすも改善されず、炉への砂供給ができないため休炉した。
5	杉並	1号炉	休炉	H21.4.7	17:00	H21.4.24	14:20	炉内圧力が不安定となり、誘引ファンの負荷が増大したため焼却炉を立下げた。
4	千歳	1号炉	休炉	H21.4.6	9:30	H21.4.8	19:09	燃焼(右)ストーカ駆動装置のロッドシール部・押さえプレート破損のため、焼却炉を立下げた。
3	江戸川	1号炉	休炉	H21.4.4	8:00			燃焼ストーカ異物噛込みの可能性により、ストーカ動作に支障をきたしたため焼却炉を立下げた。なお、このまま定期点検補修工事に入る。
2	光が丘	1号炉	休炉	H21.4.2	14:15	H21.4.7	19:40	主灰シュート部に直径10cm程の穴あきを発見した。主灰がこぼれ落ちるため休炉し、補修を行う。
1	練馬	2号炉	休炉	H21.4.1	11:00	H21.4.4	7:15	No.1燃焼ストーカ下空気流量が減少したため調査したところ、ホッパ及びシュート部に焼却灰の堆積を確認した。解除のため焼却炉を立下げた。
117	品川	2号炉	休炉	H21.3.31	15:41	H21.4.2	13:42	「ストーカ下コンベア故障」警報発報。点検したところ、駆動用モータが回転不能なため焼却炉を停止した。
114	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H21.3.16	14:30	H21.4.12	13:33	熔融空気予熱器自動清掃装置の駆動ギアより異音、また軸も異音と同じタイミングで不規則な動きをしており、さらに排ガスの漏れいも発生しているのを点検時発見したの
113	灰溶融・葛西	1号炉	休炉	H21.3.22	15:50	H21.4.12	7:00	スラグ出滓口の左側銅ブロック温度計の指示値が上上限を超え、インターロックで熔融炉が非常停止した。温度計故障(断線)と判断し、一旦立上げメタル抜き後に通常停止
101	灰溶融・足立	2号炉	休炉	H21.1.22	0:33	H21.4.8	16:50	灰熔融炉プラズマトーチ移動装置がトーチ用シール装置と干渉し、トーチを所定の運転位置に設置できないので、調査するため休炉した。
77	灰溶融・中野	4号炉	休炉	H20.11.12	19:45	H21.5.4	9:19	主電極継ぎ足し後、着火時に主電極小天井へのスパークを確認した。点検・調査のため熔融炉を停止した。
平成20年度(2008年度)								
連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
77	灰溶融・中野	4号炉	休炉	H20.11.12	19:45	H21.5.4	9:19	主電極継ぎ足し後、着火時に主電極小天井へのスパークを確認した。点検・調査のため熔融炉を停止した。
101	灰溶融・足立	2号炉	休炉	H21.1.22	0:33	H21.4.8	16:50	灰熔融炉プラズマトーチ移動装置がトーチ用シール装置と干渉し、トーチを所定の運転位置に設置できないので、調査するため休炉した。
113	灰溶融・葛西	1号炉	休炉	H21.3.22	15:50	H21.4.12	7:00	スラグ出滓口の左側銅ブロック温度計の指示値が上上限を超え、インターロックで熔融炉が非常停止した。温度計故障(断線)と判断し、一旦立上げメタル抜き後に通常停止
114	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H21.3.16	14:30	H21.4.12	13:33	熔融空気予熱器自動清掃装置の駆動ギアより異音、また軸も異音と同じタイミングで不規則な動きをしており、さらに排ガスの漏れいも発生しているのを点検時発見したの
115	灰溶融・品川	2号炉	休炉	H21.3.22	2:30	H21.3.28	13:11	熔融排ガスファン本体より振動が発生。測定したところ、定常点検時の測定データより高い値であったため、調査・補修するため休炉した。
116	足立	1号炉	休炉	H21.3.26	17:29	H21.3.31	9:52	3ラン燃焼1 - 2 帯ストーカの1箇所が脱落した。ストーカ下二重ダンパ部のブリッジにより二重ダンパ動作不具合の発見による。ブリッジの解除及び火格子補修のため焼却
117	品川	2号炉	休炉	H21.3.31	15:41	H21.4.2	13:42	「ストーカ下コンベア故障」警報発報。点検したところ、駆動用モータが回転不能なため焼却炉を停止した。
111	大田第一	3号炉	休炉	H21.3.17	21:54	H21.3.27	8:29	各炉共通系の灰搬出コンベア(1)の主務チェーンが従動側スプロケットより脱落・破断したため、1炉運転中の3号炉を停止した。
112	千歳	1号炉	休炉	H21.3.18	12:30	H21.3.23	14:46	ボイラ下ダストコンベアからのダストシュートで灰詰まりが発生した。詰まり解除のため焼却炉を立下げた。
106	江戸川	2号炉	休炉	H21.3.6	19:34	H21.3.10	13:05	後燃焼ストーカ用油圧シリンダー(右)からの油漏れがひどく、ストーカ動作に支障をきたしたため、焼却炉を立下げた。
107	目黒	1号炉	休炉	H21.3.4	12:00	H21.3.12	17:20	蒸気式ガス再加熱器戻り配管中のバルブ弁体から蒸気漏れのため、焼却炉を立下げた。
108	ガス化・世田谷	共通	停止	H21.2.21	16:50	H21.3.13	14:57	蒸気タービン加減弁蓋の水平面等から蒸気漏れがあることを確認した。補修のため蒸気タービン発電機を停止した。
109	ガス化・世田谷	1号炉	休炉	H21.3.8	16:49	H21.3.12	8:18	[不燃物抜出装装置故障]が発報した。正転・逆転等試みたが復旧しないため休炉した。
110	灰溶融・多摩	1号炉	休炉	H21.3.12	0:00			熔融炉回転装置からの異音で、受け用ガイドローラ(1箇所)が破損していたため熔融炉を休炉した。なおこのまま月例保全に入る。
104	足立	2号炉	休炉	H21.2.14	12:50	H21.2.18	7:44	ごみ供給装置の先端鑄物(固定)が外れ脱落したため補修のため休炉した。
105	新江東	2号炉	休炉	H21.2.19	1:15	H21.2.20	6:46	エコノマイザダスト搬送コンベア(R)がトルクリミット作動した。点検口からコンベヤチェーンが切断しているのを発見した。補修のため焼却炉を立下げた。
100	豊島	1号炉	休炉	H21.1.30	13:30	H21.2.12	7:39	減温塔ダスト排出口の閉塞及びダスト排出スクレーバ過電流多発のため焼却炉を停止した。
103	足立	1号炉	休炉	H21.2.7	8:50	H21.2.13	7:07	燃焼帯ストーカ(2)の火格子(1枚)が外れ脱落した。補修のため焼却炉を立下げた。

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
99	港	1号炉	休炉	H21.1.30	20:00	H21.2.4	10:40	ろ過式集じん機ダストコンベアが過電流で停止。また、ロータリバルブからは異音が発生しており、内部点検・補修のため休炉した。
102	灰溶融・品	2号炉	休炉	H21.2.3	16:10	H21.2.6	21:59	溶融スラグ室B出滓口から水砕水槽落口までの中間部に溶融スラグがつらら状に生成・堆積したため溶融炉を停止した。
98	灰溶融・品	1号炉	休炉	H21.1.17	17:35	H21.1.21	0:00	溶融スラグ室B出滓口から水砕水槽落口までの中間部に溶融スラグがつらら状に生成・堆積したため溶融炉を停止した。
76	灰溶融・世	1号炉	休炉	H20.11.11	19:26	H21.1.14	13:10	溶融炉本体底部鉄皮部分が赤熱したため休炉した。
90	千歳	1号炉	休炉	H20.12.24	20:27	H21.1.17	21:25	燃烧室側壁水管付近より炉室に蒸気が噴出し充満、ITVモニタでボイラドラム水位(空)確認、緊急停止操作を実施した。
96	江戸川	2号炉	休炉	H21.1.13	9:40			炉体左側、スタートバーナー付近の炉体ケーシングより水漏れが発見された、ボイラ水管からの漏れが懸念されるため休炉した。このまま中間点検に入る。
97	港	1号炉	停止	H21.1.13	12:08	H21.1.14	18:32	蒸気タービンの蒸気加減弁に付随する連結片が折損したため、蒸気加減弁が動作不良となり蒸気タービン発電機を停止した。
97	港	2号炉	停止	H21.1.13	12:08	H21.1.14	18:32	蒸気タービンの蒸気加減弁に付随する連結片が折損したため、蒸気加減弁が動作不良となり蒸気タービン発電機を停止した。
93	足立	2号炉	休炉	H20.12.31	16:58	H21.1.8	7:24	燃烧帯火格子下ダンパ下部で詰まり解除作業中、金属音が発生したため点検により火格子の浮き上がりを発見した。補修のため焼却炉を立下げた。
94	杉並	2号炉		H20.12.29	20:40	H20.12.30	4:15	第二乾燥ストーカに異物が噛込み、継続運転が不能となったため焼却炉を立下げた。(立下げの途中でストーカが正常復帰し、焼却炉運転に支障ないと判断し、焼却炉の再
95	大田第一	1号炉	休炉	H21.1.1	20:20	H21.1.6	6:39	「灰搬出コンベア(1)故障」警報が発報。現場にて運転を試みたが再度警報と同時に停止した。再点検の結果、リターン側スプロケット部でコンベアチェーンが脱落しており、
95	大田第一	2号炉	休炉	H21.1.1	20:20	H21.1.5	8:04	「灰搬出コンベア(1)故障」警報が発報。現場にて運転を試みたが再度警報と同時に停止した。再点検の結果、リターン側スプロケット部でコンベアチェーンが脱落しており、
85	灰溶融・品	1号炉	休炉	H20.12.8	12:00	H20.12.23	12:38	溶融排ガス煙道に設置の空気余熱器入口の伸縮継手が破損し、ガス漏えいが発生したので溶融炉を停止した。
86	豊島	2号炉	休炉	H20.12.14	4:28	H20.12.25	3:01	ボイラダスト投入装置が過負荷により停止した。ここより上流側の過熱期ダスト搬出装
88	新江東	1号炉	休炉	H20.12.20	11:00	H20.12.27	6:28	No.1及びNo.2減温塔下のダストコンベアへ灰の搬出がないことが確認されたため、調査及び詰まりの解除を行うため焼却炉を立下げた。
89	港	2号炉	休炉	H20.12.22	5:47	H20.12.27	10:16	反応蒸発塔の水噴霧状態不良により、飛灰の搬送ラインに水が流入したため切替コンベア「電流上限値」警報で停止した。搬送不能となり、焼却炉を停止した。
91	豊島	2号炉	-	H20.12.26	11:41	H20.12.26	18:53	給じん機付ブリッジ解除装置(エア駆動式)のロッド先端金物が脱落した。ごみの安定供給ができないため焼却炉を立下げた。
92	中防・破碎		休炉	H20.12.27	13:10			砂循環設備の砂投入シュート(炉入口付近)で閉塞し、砂の供給ができなくなったため焼却炉を立下げた。なおこのまま定期点検補修工事に入る。
84	灰溶融・中	3号炉	休炉	H20.12.5	18:00	H20.12.19	16:30	マンホールを開放し点検したところ、出滓口下部シュートの水冷ジャケット部から漏水を確認した。補修のため溶融炉を停止した。
87	ガス化・世	2号炉	休炉	H20.12.16	11:00	H20.12.19	8:29	「減温塔ロータリースクレーパー故障」が発報した。現場でロータリースクレーパーの起動を試みるが異音がし、復旧しなかった。補修のため焼却炉を停止した。
83	灰溶融・品	1号炉	休炉	H20.12.2	11:45	H20.12.5	12:57	溶融排ガス冷却器と空気余熱器間の排ガス煙道部へ合流する排ガスエゼクタダクト中の伸縮継手部が腐食でガス漏えいが発生したので、補修のため溶融炉を停止した。
80	ガス化・世	1号炉	休炉	H20.11.25	9:00	H20.12.3	7:28	ITVモニタにより、スラグ流下口付近に溶融スラグの塊を確認した。形状から耐火物の一部が脱落したと推測。調査・補修のため休炉した。
82	目黒	2号炉	休炉	H20.11.30	3:15	H20.12.2	22:30	洗煙設備減湿用冷却器の入口配管(200A)継手部に亀裂が入り減湿水が漏えいした。補修のため焼却炉を停止した。
81	大田第一	1号炉	休炉	H20.11.25	8:00	H20.11.27	6:12	脱気器の圧力制御が不能となったため、焼却炉を立下げた。
78	ガス化・世	1号炉	休炉	H20.11.11	10:00	H20.11.18	12:07	不燃物排出装置に針金類の詰まりを確認し、これを除去するため休炉した。
79	灰溶融・世	2号炉	休炉	H20.11.14	12:00			計画停止中、炉内点検したところ、炉底レンガが剥離し損傷していた。立上を延期し、損傷状況を調査し補修する。なお、このまま定期点検補修工事に入る。
74	ガス化・世	2号炉	休炉	H20.11.4	10:00	H20.11.14	13:20	不燃物排出装置に針金類の詰まりを確認し、これを除去するため休炉した。
75	港	2号炉		H20.11.10	10:42	H20.11.10	15:15	蒸気式ガス再加熱器(SGH)入口蒸気配管のフランジ部より蒸気漏えいのため、焼却炉を立下げた。。
68	ガス化・世	1号炉	休炉	H20.10.21	10:00	H20.11.2	11:32	不燃物排出装置に針金類の詰まりを確認し、これを除去するため休炉した。
69	練馬	2号炉	休炉	H20.10.25	12:21	H20.10.28	5:01	煙突入口排ガス分析(4成分計のSO2.No _x 測定指示値不良)故障のため、焼却炉を停止した。
70	灰溶融・品	2号炉	休炉	H20.10.23	10:00	H20.10.29	19:25	スラグクレーン 電流ケーブルリールモータ部のカップリングが破損した。スラグバンカよりスラグが搬出できないため2号灰溶融炉を停止した。
71	江戸川	2号炉	休炉	H20.10.27	4:33			灰コンベアが過負荷でトリップした。逆転等復旧作業を実施したが、解除できないため焼却炉を立下げた。。なお、このまま計画停止に入る。
72	新江東	1号炉	休炉	H20.10.28	1:07			ボイラダストコンベア(L)のトルクリミッタが作動した。現場確認したところ、チェーン・リンク部2カ所が破断していた。補修のため焼却炉を立下げた。。このまま計画停止に入
73	中防・破碎		休炉	H20.10.28	16:00	H20.11.2	11:35	水銀濃度計用現場制御盤にて、「ブロー故障」の警報が発生した。このため測定ができないので焼却炉を立下げた。。
62	大田第一	2号炉	休炉	H20.10.7	20:55	H20.10.21	8:33	飛灰空気輸送装置「ブロータンク内圧力高」の警報が発報した。飛灰輸送は移管中で閉塞が考えられ解除のため、焼却炉を立下げた。
63	灰溶融・世	1号炉	休炉	H20.10.9	15:30	H20.10.21	16:00	メタル排出のため傾動作業を実施した。その後、炉内監視口ノズル内部に冷却水の漏えいを発見したので点検・補修をするため休炉した。

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
65	灰溶融・品	2号炉	休炉	H20.10.17	1:20	H20.10.22	2:00	No.1細粒灰搬送コンベアが過負荷により停止した。灰の供給ができないため溶融炉が停止した。
66	渋谷	1号炉	休炉	H20.10.19	10:21	H20.10.20	23:08	砂循環エレベーターが過電流トリップした。再起動ができないため焼却炉を停止した。
67	中防・破碎		休炉	H20.10.22	13:32	H20.10.26	11:18	ごみ供給機において「電流値異常高」が発報したので現場確認したところ、前面ブッシャーの動作不良を発見した。継続運転ができないため休炉した。
64	ガス化・世	2号炉	休炉	H20.10.13	20:28	H20.10.14	23:06	砂循環エレベーターが過負荷により停止した。再起動ができないため炉停止した。
57	灰溶融・世	2号炉	休炉	H20.9.21	9:05	H20.9.22	14:00	煙道ダスト除去装置運転中、「回転故障」警報発 報したため、点検・補修のため休炉した。
60	光が丘	1号炉	休炉	H20.10.5	12:08	H20.10.8	18:30	飛灰搬送装置のゲート弁の動作不良を発見した。これによりクッションホッパが満杯となり、集じん機、配管等に詰まりが生じるため、焼却炉の立 下げを行った。
61	江戸川	2号炉	休炉	H20.10.5	20:00	H20.10.7	11:12	燃焼スト - カ用油圧シリンダ(左)からの油漏れ がひどく、ストーカの運転に支障をきたしたため焼 却炉を立下げた。
34	灰溶融・中	4号炉	休炉	H20.7.17	14:00	H20.10.1	16:10	出滓口において、溶融スラグの付着・堆積を除去 するばつり作業時に、出滓樋部から漏水を発見した。その後、経過を監視していたが運転継続が困 難と判断し、休炉した。
47	灰溶融・足	1号炉	休炉	H20.8.29	12:01			炉体漏れい電流値が運用基準値(100A)を超過 したため、休炉し調査する。なお、このまま定期補 修工事に入る。
48	ガス化・世	1号炉	休炉	H20.9.1	15:00	H20.9.30	11:26	不燃物抜出装置に針金類の詰まりを確認し、こ れを除去するため休炉した。
53	中防・破碎		休炉	H20.9.14	11:30	H20.9.18	11:30	砂循環装置の炉内砂供給配管に詰まりが発生し た。一時はハンマリング処置にて詰まり復旧する が、再び閉塞したため休炉した。
54	灰溶融・中	2号炉	休炉	H20.9.14	15:42			溶融炉の主電極プラズマ電圧の変動が生じたた め点検したところ、炉底電極に赤熱部を発見した ため休炉した。なお、このまま定期補修工事に入 る。
56	灰溶融・葛	2号炉	休炉	H20.9.19	22:50	H20.9.28	7:37	溶融スラグが出滓口で閉塞したため溶融炉を体 炉した。
58	灰溶融・品	1号炉	休炉	H20.9.24	12:20			溶融スラグ室B出滓口から水砕水槽(落口)に溶 融スラグがつらら状に生成したため溶 融炉を停止した。なお、このまま定期補修工事に入る。
59	ガス化・世	2号炉	休炉	H20.9.23	10:00	H20.10.4	8:45	不燃物抜出装置に針金類の詰まりを確認し、こ れを除去するため休炉した。
49	渋谷	1号炉	休炉	H20.9.4	17:00	H20.9.18	13:12	9月1日ごろより、ボイラ給水量と蒸発量との差 が平常時より少しづつ増加してきた。増 加傾向が 止まらないため焼却炉を停止して点検を行う。
51	灰溶融・多	1号炉	休炉	H20.9.10	3:51	H20.9.16	10:00	後燃焼室下部「搬出ゲート故障」により点検の結 果、落下した耐火物を取り出した。後燃 焼室内部 を調査するため休炉した。
55	灰溶融・足	2号炉	休炉	H20.9.13	3:06			出滓口付近の耐火物温度が運転管理値(700)を越えたため休炉した。なお、このまま 定期点検 補修(OH)に入る。
50	中防・破碎		休炉	H20.9.6	8:10	H20.9.12	7:18	畳切断機油圧ユニットのカップリングが備磨耗の ため油圧ポンプが作動不良で、切断 不能となった。
52	ガス化・世	2号炉		H20.9.11	9:35	H20.9.11	16:08	2号炉用アンモニア水ポンプ吸込み側パッキン部 よりアンモニア水が漏れいしたので炉 立下げを实 施。その後、漏れいアンモニアガスによる影響が 内・外部に無いことを確認
46	目黒	1号炉	休炉	H20.8.28	6:45	H20.9.7	5:46	計装・自動制御設備のプラント制御用電子計算 機(炉・ボイラ用)故障によりボイラが制 御不能の ため立下げた。
44	足立	2号炉	休炉	H20.8.21	9:00	H20.8.27	10:14	乾燥ストーカー下シュートにある二重ダンパの開閉 動作が不調なため、点検したところス トーカー下コンベアに未燃ごみ等が落下している。ストーカ等の点検・調査のため休炉
45	新江東	2号炉	休炉	H20.8.25	11:46	H20.8.31	7:07	ボイラ設備共通ダストコンベア(R)のトルクリ ックが作動した。コンベアチェーンの一部が切 断さ れ、それがシュート側に落下し引っかった状態 である。コンベアの補修及び
42	大田第一	3号炉	休炉	H20.8.18	6:55			主灰シュートブリッジが発生したので焼却炉及び 蒸気タービンを停止した。なお、このま ま定期点 検補修工事に入る。
43	足立	1号炉	休炉	H20.8.18	17:07	H20.8.22	7:32	乾燥ストーカー下シュートにある二重ダンパが開閉 動作していないため、点検したしたと ころ金属物 (5X30cm程度)等が発見された。ストーカ等の 点検・調査のため休炉した。
35	灰溶融・世	1号炉	休炉	H20.7.24	2:30	H20.8.4	2:00	灰溶融水砕水温水水槽内、上澄槽レベルの低下 により水砕水温水ポンプが自動停止し た。沈殿 槽部の詰まりを解除するため休炉した。
40	豊島	1号炉	休炉	H20.8.7	23:23	H20.8.13	2:52	焼却炉内壁面に付着したクリンカが剥離した。ク リンカにより流動層が流動不良となり、 クリンカを 除去するために休炉した。
41	港	3号炉		H20.8.14	5:53	H20.8.14	11:10	洗煙設備冷却吸収液のPH値制御用のか性ソー ダ注入が追従できず、インターロック作 動しバイパスダンパが開いた。復旧までに燃焼排ガス中 の維持管理値を逸脱すると
37	ガス化・世	2号炉	休炉	H20.7.24	10:00	H20.8.6	7:48	ボイラ設備二次燃焼室ダスト排出コンベアよりダ ストが排出しない。二次燃焼室下部の 詰まりを除 去するため休炉した。
39	葛飾	共通	休炉	H20.8.4	17:05	H20.8.7	7:55	17:02落雷によりITV装置故障発生。19:31東電 側落雷による短絡事故で52s遮断、蒸 気タービン 発電機周波数低下により蒸気タービントリップ及 び焼却炉が非常停止した。
36	足立	2号炉	休炉	H20.7.24	10:00	H20.7.29	8:10	燃焼ストーカー(1-1帯)下3ランホッパシュート詰まりのため体炉した。(アルミ溶着物の付 着で火格子が浮上がり、その隙間より未燃物等がシュートに設置の二重ダンパの動き
38	練馬	2号炉		H20.7.29	20:57	H20.7.29	22:07	1炉運転中、雷雲発生のためタービン自立運転に 移行する。20:57「周波数低下」でタービン トリップし、全停電となり非常用発電機自動起動する。(タービン立上げ開始23:29同期投
32	大田第一	1号炉	休炉	H20.7.15	9:30	H20.7.24	7:38	純水装置計量ポンプ(- 次側ボ - ルチャック部袋ナット破損し配管外れる)から塩酸の漏洩 が発生。純 水再生不可及び純水採水が困難なため焼却炉 (1.3号全炉)及び蒸気ター
32	大田第一	3号炉	休炉	H20.7.15	9:30	H20.7.24	10:58	純水装置計量ポンプ(- 次側ボ - ルチャック部袋ナット破損し配管外れる)から塩酸の漏洩 が発生。純 水再生不可及び純水採水が困難なため焼却炉 (1.3号全炉)及び蒸気ター
30	足立	1号炉		H20.7.14	17:52	H20.7.16	11:40	落雷により東電側系統事故で、蒸気タービン発 電機単独運転に移行したが、1号炉誘 引ファン 及び1.2号炉押込ファンが停止した。
30	足立	2号炉		H20.7.14	17:52	H20.7.15	15:42	落雷により東電側系統事故で、蒸気タービン発 電機単独運転に移行したが、1号炉誘 引ファン 及び1.2号炉押込ファンが停止した。

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
31	豊島	1号炉	休炉	H20.7.15	4:06	H20.7.15	16:36	1.2号ごみクレーン自動運転中、クレーン主回路電源が断となり停止。。ごみ投入ができなくなったため焼却炉(全炉)及び蒸気タービン発電機(解列7月15日04:30,立下げ
31	豊島	2号炉		H20.7.15	4:06	H20.7.16	15:26	1.2号ごみクレーン自動運転中、クレーン主回路電源が断となり停止。ごみ投入ができなくなったため焼却炉(全炉)及び蒸気タービン発電機(解列7月15日04:30,立下げ
33	新江東	共通	停止	H20.7.17	6:30	H20.7.19	18:14	蒸気タービンの蒸気加減弁と油圧シリンダの連結部分(ターンバックル部ロットエンド軸受(上部)が折損したため、蒸気加減弁が動作不良となり蒸気タービン発電機を停止
29	北	1号炉	休炉	H20.7.10	3:00			ボイラ側壁シールボックス付近水管より水漏れを確認し、炉停止した。なお、このまま中間点検に入る。
14	中防・破碎		休炉	H20.5.18	16:04	H20.6.27	13:32	給じん設備ごみ供給機の電流値「高」発生。供給機のスクリー軸アイドルギア用ラケット損傷により回転不能となり休炉した。
25	灰溶融・中	4号炉	休炉	H20.6.22	5:20	H20.6.24	18:18	前処理設備の灰供給コンベアが「過負荷」で停止した。従動側軸受の破損により溶融炉をホールドした。
26	ガス化・世田	1号炉		H20.6.25	4:11	H20.6.25	21:15	ボイラ下ダストコンベアが「過負荷」で停止した。再起動運転が不能なため炉停止した。
27	灰溶融・品川	2号炉	休炉	H20.6.25	5:40	H20.6.28	18:40	細粒灰計量器のコンベアが蛇行運転し、正確な計量ができないため炉を停止した。
28	ガス化・世田	2号炉	休炉	H20.6.27	9:00	H20.6.29	9:35	ガス化溶融炉スラグ流下口シュート側面に溶融スラグ付着・堆積し休炉した。
22	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H20.6.12	9:00	H20.6.18	14:06	溶融排ガス冷却器と溶融空気予熱器間の煙道に設置のパイプレータ取付付近より排ガスが漏洩していたため、溶融炉を停止した。
23	ガス化・世田	1号炉	休炉	H20.6.12	11:00	H20.6.21	11:30	ボイラ設備二次燃焼室ダスト排出コンベア下部排出口に堆積物を確認。除去するため休炉した。
16	灰溶融・世田	2号炉	休炉	H20.5.22	11:50	H20.6.11	18:30	出滓口シュート部ケーシングに亀裂が発生し、炉を停止した。
18	ガス化・世田	2号炉	休炉	H20.6.6	17:00	H20.6.14	12:29	「バッフル差圧」上昇、燃焼溶融炉バッフル部の閉塞が考えられるので調査のため休炉した。
20	練馬	共通		H20.6.9	19:15	H20.6.9	22:30	1炉運転中(2号炉は定期点検補修中)雷雲発生後タービン自立運転中、落雷により付近一帯停電する。19:15「周波数低下」でタービントリップし、非常用発電機自動起動後、焼
21	豊島	共通		H20.6.7	19:00	H20.6.10	20:48	1号炉定期点検補修終了直後、蒸気タービン用シーリング蒸気圧力調節計の故障で立上げを延期した。(タービン立上げ開始6/1111:11,同期投入 13:07)なお仮補修に付調
24	豊島	1号炉		H20.6.13	7:34	H20.6.13	13:05	二次空気流量の計測異常により、燃焼制御ができなくなったため、焼却炉を停止した。
19	灰溶融・世田	1号炉	休炉	H20.6.7	17:00			出滓口シュート部ケーシングに亀裂が発生し、炉を停止した。なお、1号炉はこのまま計画停止する。
9	灰溶融・葛西	1号炉	休炉	H20.4.28	12:46	H20.6.1	23:44	スラグ出滓口銅ブロック(右・左側)温度計故障により休炉した。
	灰溶融・世田	2号炉	休炉	5月18日	1:40	5月19日	0:00	溶融スラグが出滓口で閉塞した。それにより溶融炉の炉内圧が上昇した。
15	灰溶融・世田	1号炉	休炉	H20.5.21	19:38	H20.6.1	18:00	煙道ダスト除去装置運転中、「回転故障」警報発報する。除去装置の軸が変形したので休炉した。
17	多摩川	2号炉	休炉	H20.5.24	4:23	H20.5.27	2:33	ボイラ過熱低減器の流量オリフィス部より蒸気漏れ発生。補修を行うため、焼却炉を立下た。
	港	1号炉		H20.5.12		H20.5.15		自動化弁制御盤のヒューズ「断」により洗煙設備等のダンバが「閉」となり、インターロックでFDF、IDF等が停止した。(2～3度再発し、その都度、ヒューズを交換し炉は再立ち
8	灰溶融・世田	1号炉	休炉	H20.4.27	4:17			プラズマトーチ用の直流電源装置が故障し休炉した。
10	灰溶融・板橋	1号炉		H20.5.2	17:00			溶融排ガス集じん機下部ホッパ閉塞。解除作業のためホールドした。
11	中防・破碎		休炉	H20.5.6	9:30	H20.5.10	19:25	塩化水素除去設備排ガス再加熱器の蒸気ドレン配管エルボ部より蒸気漏れのため休炉した。
7	灰溶融・多摩川	1号炉	休炉	H20.4.21	20:19	H20.4.25	6:28	主燃焼バーナ3本中、№1バーナが失火多発により点検のため休炉した。
3	江戸川	2号炉	休炉	H20.4.5	14:21	H20.4.15	12:16	炉壁から剥離したクリンカが割れず、主灰シュートで閉塞したため休炉した。
4	北	1号炉	休炉	H20.3.28	4:00	H20.4.15	9:52	給じん装置先端鑄物冷却用冷却水が漏洩しているので補修のため、焼却炉を停止した。
6	ガス化・世田	2号炉	休炉	H20.4.15	6:08	H20.4.18	8:40	スラグ搬出コンベアが過負荷により停止した。再起動運転が不能なため炉停止した。
93	灰溶融・板橋	2号炉		H20.3.23	2:29	H20.4.10	15:00	溶融炉の灰投入機ブッシャープレートが脱落し、灰切出しが不能となった。
5	ガス化・世田	1号炉		H20.4.14	4:45	H20.4.14	13:40	ガス化溶融炉スラグ流下口とば口に溶融スラグ付着・堆積し休炉した。
92	板橋	1号炉	休炉	H20.3.23	22:46	H20.4.5	9:18	「ろ過式集じん機下ダストコンベア(A)故障」が発生した。現場確認したところ、スクリーコンベアのシャフトが回らず、またモータも過熱していた。
1	ガス化・世田	2号炉		H20.4.3	0:30	H20.4.3	13:51	「砂循環エレベータ故障」発報により停止した。復旧に時間が要すると判断し休炉した。
2	ガス化・世田	1号炉	休炉	H20.4.3	15:00	H20.4.7	9:32	ガス化溶融炉スラグ流下口下部に溶融スラグ付着・堆積し休炉した。

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
平成19年度(2007年度)								
連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
93	灰溶融・板橋	2号炉		H20.3.23	2:29	H20.4.10	15:00	溶融炉の灰投入機ブッシャープレートが脱落し、灰切出しが不能となった。
92	板橋	1号炉	休炉	H20.3.23	22:46	H20.4.5	9:18	「る過式機じん機下ダストコンベア(A)故障」が発生した。現場確認したところ、スクリーコンベアのシャフトが回らず、またモータも過熱していた。
91	新江東	1号炉	休炉	H20.3.18	8:00			主灰シュートブリッジのため休炉した。
94	墨田	1号炉	休炉	H20.3.26	10:00	H20.3.30	9:11	主灰シュートブリッジにより焼却炉及びタービン発電機を停止した。
87	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H20.3.7	11:00	H20.3.13	19:00	灰溶融炉 側壁部の冷却水配管ピンホールにより水漏れのため休炉した。
90	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H20.3.17	6:30			No1溶融排ガス冷却装置灰排出コンベアが過負荷にて停止した。補修後、このまま計画停止に入る。
88	ガス化・世田谷	1号炉	休炉	H20.3.14	20:00	H20.3.18	9:31	ガス化溶融炉スラグ流下口下シュートに溶融スラグ付着・堆積し休炉した。
89	中防・破碎		休炉	H20.3.15	4:59	H20.3.15	18:47	砂分級機用電源ケーブルが損耗し、地絡により遮断器がトリップ、継続運転不能となり炉を停止した。
78	江戸川	1号炉	休炉	H20.2.13	15:30	H20.2.29	11:24	炉壁から剥離したクリンカが割れずに主灰シュートに閉塞したため、焼却炉を下下げた。
79	港	1号炉	休炉	H20.2.17	9:00	H20.3.8	10:37	ウォータージャケットからの水漏れがあるので、点検・補修のため休炉した。
85	豊島	1号炉	休炉	H20.2.29	22:08	H20.3.7	0:02	脱硝設備にアンモニア水(ガス)が吹き込めなくなったので休炉した。
75	光が丘	2号炉	休炉	H20.2.3	6:00	H20.2.26	21:00	灰コンベアの減速機故障のため休炉した。
86	杉並	2号炉		H20.3.2	6:10	H20.3.2	6:40	1炉運転中、第2段乾燥ストーカ動作不良で蒸気量低下によりタービントリップ及び焼却炉を下下げた。(以後、異物噛込みが解除され、ストーカの動作が順調なので再立上
80	豊島	1号炉	休炉	H20.2.13	0:00	H20.2.19	19:21	給じん機ブッシャーの故障によりごみが安定的に供給できなくなったため、焼却炉を停止した。
82	千歳	1号炉		H20.2.19	6:31	H20.2.20	9:10	計装設備の炉用電磁弁MCCBTリップにより、給じんブッシャー及びストーカ等の炉用機器の動作不良が発生した。(MCCBTリップ再現性の確認のため、再立上げた。)
83	灰溶融・世田谷	2号炉	休炉	H20.2.19	12:57			細粒灰計量ホッパ切出装置が過負荷により停止した。異物の噛込みではないので調査復旧のため休炉する。また、このまま計画停止に入る。
84	有明	1号炉		H20.2.20	23:44	H20.2.23	4:10	ごみホッパブリッジが発生したため休炉した。
76	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H20.1.29	16:27	H20.2.7	13:10	鉄分搬送コンベアに異物噛み込みシュート変形する。コンベア運転不可により、細粒灰の貯留困難なため休炉した。
77	灰溶融・品川	2号炉	休炉	H20.2.5	23:40	H20.2.13	18:55	溶融スラグ室B 出滓口部に溶融スラグがつらら状に生成した。除去のため休炉した。
81	杉並	2号炉		H20.2.17	10:25	H20.2.17	12:30	1炉運転中、第1段乾燥ストーカ動作不良で蒸気量低下によりタービントリップ及び焼却炉を下下げた。(以後、異物噛み込みが解除され、ストーカの動作が順調なので再立ち
73	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H20.1.27	7:00	H20.1.30	4:20	溶融スラグ室B 出滓口～水砕水槽(落口)に溶融スラグがつらら状に生成した。除去のため休炉した。
74	豊島	ごみクレ	停止	H20.1.28	12:30	H20.2.1	15:00	2号ごみクレーンが計量不良になったため、クレーンを停止した。
69	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H20.1.4	18:00	H20.1.19	16:30	灰溶融炉 炉床の冷却水配管より水漏れ発生のため休炉する。
71	足立	2号炉	休炉	H20.1.21	11:20	H20.1.30	7:01	高圧蒸気ヘッダ付出口手動弁(蒸気タービン行き)のグランド部より蒸気漏れのため休炉。なお、補修作業のため1号焼却炉も休炉した。
72	灰溶融・中防	3号炉	休炉	H20.1.22	6:00			点検口から漏水を確認する。内部を点検したところ、溶融排ガス煙道部水冷ジャケットの冷却水が出滓口カバー内部で噴出していた。このまま計画停止(1/27よりOH)する。
68	灰溶融・世田谷	2号炉	休炉	H19.12.29	9:10	H20.1.15	17:32	出滓口レンガの溶損によりスラグ出滓口下シュート部の耐火材及び鉄皮が損傷したため、溶融炉を休炉した。
70	足立	灰クレ	休炉	H20.1.13	2:50	H20.1.16	8:44	油圧バケット給電用ケーブルリールモータがサーマルトリップする。灰クレーンの継続運転が不能なため、また灰搬出量を見込み1号炉を休炉した。
64	灰溶融・大田第二	1号炉		H19.12.14	16:04	H19.12.15	23:58	1系乾燥機連結コンベア「地絡継電器作動」により停止する。インターロックにより緊急停止となり、その後溶融炉ホールドする。
65	品川	1号炉	休炉	H19.12.19	23:33	H19.12.23	16:24	減温塔灰搬出装置のロータリースクレーパーが異物噛込みによる過負荷で運転不可となったため休炉した。
66	中央	共通	停止	H19.12.19	7:06	H19.12.19	12:50	蒸気タービンの軸振動値が上限を超えタービントリップした。
67	品川	2号炉		H19.12.23	1:00	H19.12.24	11:01	炉内圧制御ダンパ用電油操作器が制御不能により点検のため焼却炉の立下げを開始した。
63	大田第二	1号炉	休炉	H19.12.9	16:30			後燃ストーカ(4L)の自動運転が不能となり手動操作にて対応していたがその後制御できなくなる。また、ストーカ下シュートの閉塞も確認し、休炉する。このまま計画停止に
62	中防・破碎		休炉	H19.11.29	15:00	H19.12.4	20:33	不燃物抜出装置のジャケット付スクリーコンベアーより冷却水漏れが発生したため、点検及び修理のため休炉する。
61	目黒	1号炉	休炉	H19.11.19	18:50	H19.11.26	21:44	2直点検時、主灰シュート詰まり発見。焼却炉及びタービン発電機を停止した。

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
59	練馬	2号炉	休炉	H19.11.18	23:10	H19.11.20	20:30	飛灰圧送装置、昇圧不良で飛灰が搬出できないため休炉する。
60	杉並	1号炉	休炉	H19.11.19	7:50	H19.11.25	12:35	主灰シュート上部温度の変化状況よりブリッジと判断し、炉を停止して点検・清掃する。
58	渋谷	共通	停止			H19.11.6	15:42	蒸気タービン抽気加減弁用電動アクチュエータ故障(故障No.54)原因が軸受摩耗との メーカー見解により、同型機を使用している蒸気加減弁用電動アクチュエータについても
47	豊島	2号炉	休炉	H19.9.19	0:36	H19.11.7	1:13	炉内圧力の急上昇で緊急停止装置が作動した。原因調査中だが、ボイラ水管の噴破 と思われる。
57	灰溶融・多摩	2号炉	休炉	H19.10.31	8:29	H19.11.5	9:03	空気予熱器灰排出装置が過負荷でトリップする。(排出シュート部が溶融塩で閉塞して いるのを点検口より確認する。)
54	渋谷	1号炉	休炉	H19.10.21	11:56	H19.10.24	14:59	蒸気タービン抽気ガバナの電動アクチュエータがトリップした。その結果、抽気ラインの 圧力が上昇、給熱ヘッダーの安全弁から蒸気が系外に漏出し、復水タンクレベルが低
55	千歳	共通	停止	H19.10.21	13:23	H19.10.23	23:11	タービン発電機立ち上げ中、発電機出力が上昇せず。同期投入渋滞を繰り返したた め、蒸気タービンを停止した。
56	灰溶融・品川	2号炉	休炉	H19.10.23	1:00	H19.10.27	6:55	スラグ室Bの温度が上昇し、点検するとスラグ落口が閉塞していたため休炉した。
53	板橋	共通		H19.10.15	5:48	H19.10.17	20:00	3号ごみクレーン油圧バケットが「掴み」不能となった。油圧「高」警報発報、外観点検で は油漏れなど確認されず。
50	多摩川	2号炉	休炉	H19.9.29	6:12	H19.10.6	3:43	主灰シュートが閉塞したので休炉する。
51	葛飾	1号炉	休炉	H19.10.3	9:14	H19.10.9	14:17	後燃ストーカ駆動シャフト用軸受の取付ボルトが折損したため、ストーカの運転が不能 となる。
52	品川	2号炉	休炉	H19.10.3	13:57	H19.10.5	17:36	蒸気タービン解・並列運転試験において並列運転移行の際、52S遮断器補助接点不具 合により、1、2号焼却炉が非常停止した。1号炉は復旧したが契約電力を超えないため
49	大田第二	3号炉	休炉	H19.9.27	15:00			後燃ストーカ上に番線の塊を発見する。主灰シュートに閉塞の恐れがあったため休炉 し、除去する。なお、このまま計画停止に入る。
44	灰溶融・品川	1号炉	休炉	H19.8.29	8:40	H19.9.22	14:30	溶融排ガス冷却煙道に飛灰による詰まりが発生する。
48	灰溶融・大田	2号炉		H19.9.20	10:30			乾燥排ガスタクト(1号焼却炉煙道入口付近)において腐食による穴あき(約20mm)が 発生する。補修以後、定期保全に入る。
45	千歳	1号炉	休炉	H19.9.8	21:17	H19.9.11	21:37	主灰コンベアのチェーン連結ピン脱落によりコンベア停止のため休炉する。
46	灰溶融・品川	2号炉	休炉	H19.9.10	10:30	H19.9.14	5:02	溶融空気予熱器の自動清掃装置が停止し、予熱器内の灰が除去できなくなったので 休炉する。
37	港	3号炉	休炉	H19.8.13	13:15	H19.9.12	12:32	脱気器の安全弁取付フランジより蒸気漏れが発生したため休炉する。
39	大田第二	1号炉	休炉	H19.8.13	16:00			焼却炉内にクリンカが生成する。除去・清掃のため休炉する。(このまま中間点検には いる。)
40	港	2号炉	休炉	H19.8.17	10:03			蒸気式再加熱器(熱交換器)から蒸気漏れが発生したため休炉する。(1号炉と変更し、 定期点検補修(8/17～)にはいる。)
32	中央	2号炉	休炉	H19.8.2	7:02	H19.8.17	9:54	燃焼ストーカ(右列 №3)動作不良。また、ボイラストブロー(№13 定置式)点検のた め休炉する。
36	灰溶融・品川	2号炉	休炉	H19.8.11	14:10	H19.8.21	16:10	スラグ処理設備 SS分離装置のスクリーンが目詰まりし、水砕水槽の上澄循環水が処 理できないため休炉する。
42	中央	2号炉	休炉	H19.8.24	0:00	H19.8.31	7:39	蒸気式再加熱器出口配管のフランジから蒸気漏れが発生したため休炉する。
43	千歳	1号炉	休炉	H19.8.28	19:27	H19.8.30	23:36	アンモニア水供給装置不良のため休炉する。
34	中防・破碎		休炉	H19.8.4	19:55	H19.8.23	14:20	「シーケンサ異常」発生し、CRTからの操作が不可能となったため休炉する。(8/09～ 8/22まで計画停止含む。)
41	灰溶融・多摩	1号炉	休炉	H19.8.20	5:48			灰の固着により投入灰切出しコンベア過負荷でトリップする。このまま計画停止(月例 保全)する。
29	大田第二	3号炉	休炉	H19.7.21	20:18	H19.8.15	10:23	ボイラ給水(30t/h)すれどもボイラドラム水位回復しないので非常停止操作実施。マン ホールよりボイラ第二パス上部水管より水流を視認する。
33	光が丘	1号炉	休炉	H19.8.4	11:10	H19.8.9	19:17	冷却吸収塔吸収液ラインのストレーナ前弁より漏れのため休炉する。
38	品川	2号炉	休炉	H19.8.13	14:49	H19.8.16	15:15	減温塔用減温水噴射ノズルへ圧縮空気が停止したため、水浸しとなり飛灰固まり搬出 不能となる。
31	灰溶融・品川	2号炉	休炉	H19.7.29	21:05	H19.8.3	10:00	出滓口(A・B)閉塞のため休炉する。
35	灰溶融・品川	2号炉		H19.8.6	11:10	H19.8.6	17:01	出滓口から水砕水槽(落口)までに溶融つららが生成する。
28	大田第一	1号炉	休炉	H19.7.18	11:24	H19.8.1	3:00	燃焼ストーカ動作不良。調査のため休炉する。
25	光が丘	2号炉	休炉	H19.7.1	19:10	H19.7.24	19:10	脱硝装置の通ガス圧力が上昇し、警報発報。休炉して点検・調査を実施する。
27	灰溶融・足立	1号炉	休炉	H19.7.17	14:32	H19.7.25	16:00	灰ホッパから定量以上に炉内へ供給されたため、炉内圧上昇し、インターロックにより 停止する。
30	大田第一	3号炉	休炉	H19.7.29	7:35			ごみホッパゲートが焼却炉内に落下のため休炉し、そのまま定期点検補修にはいる。
23	豊島	1号炉	休炉	H19.7.2	10:40	H19.7.6	2:30	砂供給配管(焼却炉投入付近)に閉塞が発生したため休炉する。

23区「清掃工場等故障週報」一覧

連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
24	有明	1号炉	休炉	H19.7.2	12:38	H19.7.5	11:05	1・2号炉用共通のアンモニア給水ポンプ(№1)が吐出不良となったため、№2ポンプに切替えたが同様に吐出力不足が生じたため1号炉を下下げた。
26	足立	1号炉	休炉	H19.7.9	13:00	H19.7.13	6:56	№2ストーカ下コンベアの反駆動側シャフトが破断のため休炉する。
20	灰溶融・品	1号炉	休炉	H19.6.19	15:48	H19.6.29	13:00	溶融排ガス冷却器のロータリースクレッパが過負荷にてトリップする。
22	足立	2号炉	休炉	H19.6.28	16:27	H19.7.7	9:18	乾燥用ストーカ下シュート点検口より未燃物落下を発見する。調査・点検のため休炉する。
21	灰溶融・足	2号炉	休炉	H19.6.23	21:48	H19.6.29	0:00	破碎スラグ搬送コンベア(№2)過負荷にてトリップする。その影響でテークアップ装置・駆動チェーン等の破損も生ずる。
17	灰溶融・足	1号炉	休炉	H19.6.13	21:42			灰ホッパから定量以上に炉内へ供給されたため、炉内圧上昇し、インターロックにより停止する。(連番21発生によりスタンバイ状態となる。)
18	足立	2号炉	休炉	H19.6.15	20:50	H19.6.23	6:32	ろ過式集じん器出口でばいじんが検出されたので、調査のため休炉する。
19	灰溶融・多	1号炉	休炉	H19.6.16	0:03	H19.6.19	12:54	空気予熱器灰搬出装置が過負荷にてトリップする。(排出シュート部が溶融塩で閉塞しているのを点検口より確認する。)
9	灰溶融・品	2号炉	休炉	H19.8.18	1:25			2号スラグ排出コンベア過負荷にてトリップ休炉する。(なお、2号焼却炉中間点検に伴う停止に入る。(5/18~))
14	江戸川	2号炉	休炉	H19.6.6	7:19	H19.6.13	11:29	主灰シュート・ブリッジ発生し、解除のため休炉する。
16	灰溶融・板	共通		H19.6.9	8:42	H19.6.11	13:00	受入灰クレーンが電気故障(インバータトリップ)発生のため、ホールドする。
3	灰溶融・板	1号炉		H19.4.26	11:08	H19.6.4	15:00	前処理設備の受入細粒灰コンベア№1A過電流で停止する。変速機に異常ありホールドする。
15	大田第二	3号炉	休炉	H19.6.7	11:30			主灰シュートが閉塞気味になった。清掃のため休炉し、そのまま中間点検にはいる。また、ボイラー水質(電導度)が希釈傾向にあり併せてボイラー水管の点検を行う。
11	目黒	2号炉	休炉	H19.5.22	20:30	H19.5.30	15:38	乾燥ストーカ下シュート詰まり発生にて休炉する。
12	板橋	1号炉	休炉	H19.5.20	10:00	H19.6.1	9:37	ストーカ駆動用油圧シリンダー(Aレーン燃焼帯1(2))部より油漏れにて休炉する。
13	中防・破碎	2プラC	停止	H19.5.28	9:55	H19.5.31	16:30	破碎物排出コンベアのリグノフェロー損傷及びモータ脱落にて停止する。
10	大田第二	2	休炉	H19.5.18	11:00	H19.5.25	8:15	回転炉での燃焼不良で温度低下のため休炉し、調査する。
8	灰溶融・板	2号炉		H19.5.14	4:30			前処理設備の受入乾燥灰コンベア№2過電流で停止する。変速機に異常ありホールドする。
2	大田第二	3号炉	休炉	H19.4.17	9:00	H19.5.3	6:36	ボイラーブロー配管(15A)にピンホールが発生したので休炉する。
5	灰溶融・中	2号炉		H19.5.2	11:00	H19.5.11	15:05	出滓口クリーナ装置の先端部品損傷によりホールドとする。
7	灰溶融・板	2号炉		H19.5.6	22:17	H19.5.9	14:40	C相主電極把持器がスパークし焼損したのでホールドする。
4	中防・破碎		休炉	H19.4.30	21:00	H19.5.1	13:34	破碎処理ごみが均一化できず、安定供給が困難なため休炉する。
6	板橋	スラグクレーン		H19.5.3	20:05	H19.5.4	19:15	スラグクレーンパケットのアクスルピン破断し、開閉不能のため灰溶融炉(1・2号炉)をホールドする。
1	大田第二	1号炉	休炉	H19.4.2	9:00	H19.4.28	7:26	脱硝装置の通ガス圧力の差圧が上昇し、IDFによる回転数制御が困難になったので、休炉する。
81	渋谷	1号炉	休炉	H19.2.27	10:40	H19.4.12	16:26	一次押込ファン軸受冷却用の放熱板の緩みにより異音発生。部品調達でください休炉して補修する予定。
93	練馬	1号炉	休炉	H19.3.31	8:22	H19.4.5	5:00	飛灰圧送装置(ダンパアーム折損及び亀裂)故障により、休炉する。
平成18年度(2006年度)連番抜けあり27、32、33、92								
連番	工場名	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
93	練馬	1号炉	休炉	H19.3.31	8:22	H19.4.5	5:00	飛灰圧送装置(ダンパアーム折損及び亀裂)故障により、休炉する。
81	渋谷	1号炉	休炉	H19.2.27	10:40	H19.4.12	16:26	一次押込ファン軸受冷却用の放熱板の緩みにより異音発生。部品調達でください休炉して補修する予定。
86	灰溶融・足	1号炉	休炉	H19.3.10	11:30			出滓フード下部に塩類が付着し、成長すると出滓口が閉塞する可能性があるため休炉。その後、一部の耐火物剥離も発見され、合わせて対応するとともに、そのまま中間焼却炉本体の水噴霧ノズル取付部付近に炉内耐火材落下によると思われる損傷が発生したため休炉。
90	豊島	1号炉	休炉	H19.3.21	15:30	H19.3.28	15:42	
91	中防・破碎		休炉	H19.3.22	1:23	H19.3.24	22:11	№2飛灰搬送コンベアがシャープピンリレートリップにより停止し、飛灰搬送が不可能となったので、休炉する。
85	板橋	2号炉	休炉	H19.3.9	9:00	H19.3.21	9:45	給じん装置油圧配管の油漏れ補修のため休炉。
89	江戸川	2号炉		H19.3.21	14:00	H19.3.21	19:14	2号炉給じんブッシャーから油漏れが発生し、補修のため蒸気発生量を制限する必要があったので、タービン発電機を停止した。